

第105回日本結核病学会 近畿地方会  
第75回日本呼吸器学会

日 時：平成22年7月17日(土) 午前9時より

会 場：大阪国際会議場

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51  
TEL 06-4803-5555 (代表)

会 長 坂 東 憲 司

大阪府済生会中津医療福祉センター 済生会中津病院 院長補佐

〒530-0012 大阪市北区芝田 2-10-39 TEL. 06-6372-0333



## 参加者、発表者へのご案内

1. 参加者は総合受付で参加費3,000円をお支払いください。  
日本結核病学会評議員の方は、評議員会費2,000円を別途お支払いください。
2. 会場内では携帯電話は電源オフかマナーモードにしてください。
3. このプログラムは必ずご持参ください。当日会場にて1,000円にて販売いたしますが、部数に限りがございます。

### <日本呼吸器学会 専門医資格更新のための単位取得について>

対象者：日本呼吸器学会専門医の資格をお持ちの方

地方会出席の5単位、演者はこれに3単位が加算されます。

教育講演出席は5単位です。事前申込は不要です。当日、呼吸器学会近畿支部事務局のデスクにて教育講演出席のスタンプを捺印いたしますので、参加証明のスタンプカードをお持ちください。バーコード付きのカードは使用できませんのでご注意ください。

### <発表者の方へ>

1. 一般演題の口演時間は6分、討論時間は3分です。時間厳守をお願いします。
2. 全会場PCによる発表です。PowerPoint(Windows版)で作成したデータをCD-RおよびUSBメモリー、あるいはPCにてご持参ください。なお、主催者側で用意するPCのOSはWindows 7で、PowerPointのバージョンはMicrosoft PowerPoint 2003/2007です。
3. 発表30分前までにデータ受付(10F/ホワイエ)にて試写を終えてください。発表データは完成版のみ、お持ちください。  
※Macintosh・Windows XP、Vista、PowerPoint 2010で作成されたデータについては、ご自身のパソコンをお持ち込みください。  
※PCをお持ち込みになる場合は、PCに付属のACアダプタを必ずご持参ください。  
※会場で用意するPCケーブルコネクタの形状はMiniD-sub15ピンです。この形状に合ったPCをご使用ください。また、この形状に変換するコネクタを必要とする場合は、必ずご自身でお持ちください。
4. 抄録の訂正をご希望の方は、各会場前の受付に2部とCD-Rに抄録データを入れてお持ちください。抄録は演題名・所属・発表者名・本文を含めて200字以内です。

---

理 事 会 (10:30 ~ 11:30)	10F/会議室 1010
評 議 員 会 (12:15 ~ 13:00)	第3会場 (10F/1002)
総 会 (13:15 ~ 13:30)	第1会場 (10F/1003)
ランチョンセミナー1 (12:00 ~ 13:00)	第5会場 (10F/1006・1007)
ランチョンセミナー2 (12:00 ~ 13:00)	第4会場 (10F/1004・1005)
ランチョンセミナー3 (12:00 ~ 13:00)	第2会場 (10F/1001)
教 育 講 演 (13:30 ~ 17:30)	第1会場 (10F/1003)
学 会 本 部	10F/控室-1

# 会場アクセス

## 大阪国際会議場

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号  
TEL: 06-4803-5555(代表) FAX: 06-4803-5620



### 駐車場のご案内

当館北側道路「中之島通」より地下スロープへお入り下さい。

料金	1時間500円
ご利用時間	8:00 ~ 22:00
収容台数	304台
車高制限	2.1m
車長制限	5.0m

※利用料金について、障害者が運転又は同乗する自動車に対して免除できるがございますので、窓口・駐車場スタッフに障害者手帳をお示し下さい。

### ■関西国際空港から

- JR「大阪駅」まで約55分。
- 南海電鉄で「難波駅」まで約30分。
- 空港リムジンバスで「リーガロイヤルホテル」まで約90分。

### ■大阪国際空港(伊丹)から

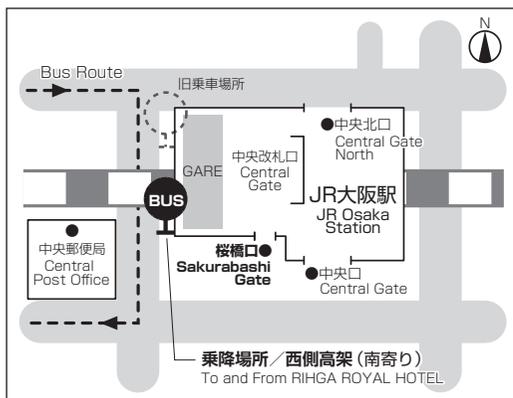
- 空港リムジンバスで「大阪駅」前まで約30分。

### ■新幹線(新大阪駅)から

- JR在来線で「大阪駅」まで約5分。

### ■周辺アクセス

- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」下車(2番出口すぐ)
- JR「大阪駅」駅前大阪市営バスターミナルから、大阪市営バス(53系統 船津橋行)または(55系統 鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
- JR東西線「新福島駅」(2番出口)から徒歩約10分
- 阪神電鉄「福島駅」から徒歩約10分
- 大阪市営地下鉄「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約10分



### JR大阪駅 シャトルバスのりば〈無料(定員28名)〉

#### ■リーガロイヤルホテル行き

- 運行時間/毎日7:45 ~ 22:15(所要時間約10分)
  - ・10:00 ~ 21:00(6分間隔)
  - ・7:45 ~ 10:00および21:00 ~ 22:15(15分間隔)
- 乗降場所/ JR大阪駅西側(高架南寄り)

※ご利用の際は、桜橋口方面をご利用いただくことをお勧めいたします。

# 会場案内図

第1会場：会議室1003（総会、教育講演）

第2会場：会議室1001（ランチョンセミナー3）

第3会場：会議室1002（評議員会）

第4会場：会議室1004・1005（ランチョンセミナー2）

第5会場：会議室1006・1007（ランチョンセミナー1）

総合受付・データ受付・日本呼吸器学会近畿支部事務局デスク  
：10Fホワイエ

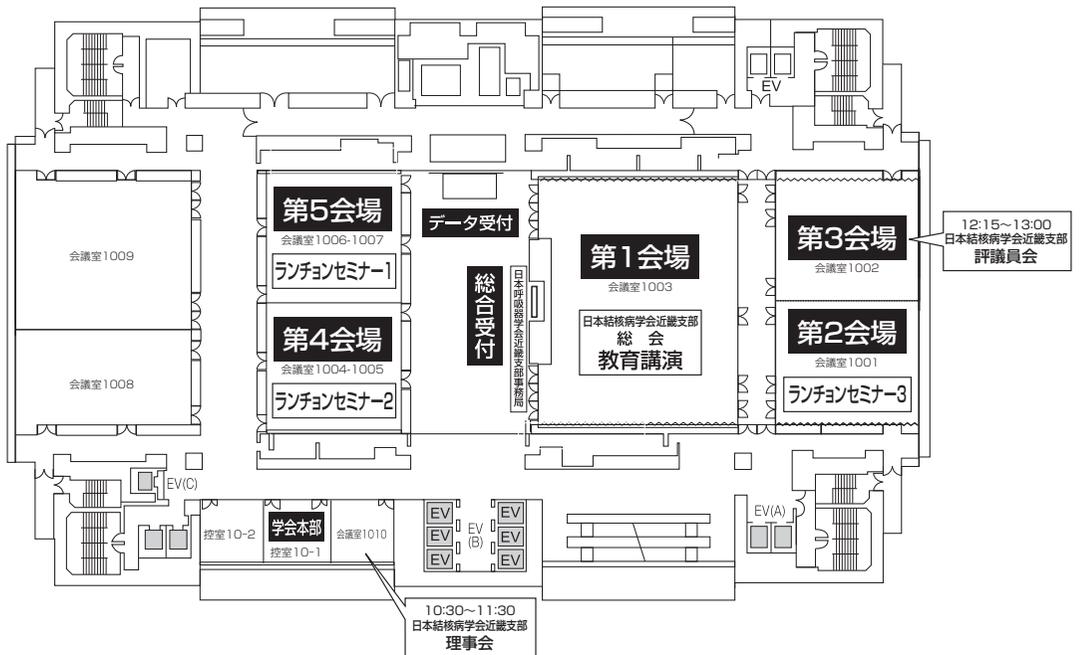
学会本部：控室10-1

理事会：会議室1010 10：30～11：30

評議員会：会議室1002（第3会場）12：15～13：00

総 会：会議室1003（第1会場）13：15～13：30

10F



# 学会進行予定表 (一般演題：発表6分、討論3分)

	第1会場 (10F/1003)	第2会場 (10F/1001)
8:55	開会の辞	
9:00	<b>インフルエンザ1</b> (9:00～9:36) 座長：北 英夫 (1～4)	<b>肺癌1</b> (9:00～9:54) 座長：若山 俊明 (19～24)
10:00	<b>インフルエンザ2</b> (9:36～10:12) 座長：酒井 直樹 (5～8)	<b>肺癌2</b> (9:54～10:39) 座長：山本 傑 (25～29)
11:00	<b>肺炎1</b> (10:12～10:57) 座長：林 三千雄 (9～13)	<b>肺癌3</b> (10:39～11:15) 座長：郷間 巖 (30～33)
	日本結核病学会近畿支部 <b>理事会</b> (10:30～11:30) 会場:10F/1010	
11:00	<b>アスペルギルス症</b> (10:57～11:42) 座長：少路 誠一 (14～18)	<b>肺癌4</b> (11:15～11:51) 座長：池田宗一郎 (34～37)
12:00		<b>ランチョンセミナー3</b> (12:00～13:00) 肺癌診療ガイドラインにおける進行期非小細胞肺癌の治療に関する改訂のポイント 座長：長谷川吉則／演者：瀬戸 貴司 共催：日本イーライリリー株式会社
13:00	日本結核病学会近畿支部 <b>総会</b> (13:15～13:30)	
14:00	<b>教育講演</b> 1. オマリツマブが気管支喘息治療に与えたインパクト (13:30～14:30) 座長：石原 享介／演者：塩田 哲広	<b>肺癌5</b> (13:30～14:24) 座長：笹田 真滋 (38～43)
15:00	2. 結核最新の話 (14:30～15:30) 座長：倉澤 卓也／演者：鈴木 克洋	<b>その他の腫瘍1</b> (14:24～15:00) 座長：遠藤 和夫 (44～47)
16:00	3. 慢性咳嗽の診断と治療 (15:30～16:30) 座長：西山 秀樹／演者：新実 彰男	<b>その他の腫瘍2</b> (15:00～15:36) 座長：木島 貴志 (48～51)
17:00	4. 肺がん薬物療法のワンポイントレッスン (16:30～17:30) 座長：福岡 正博／演者：武田 晃司	<b>その他の腫瘍3</b> (15:36～16:12) 座長：大政 貢 (52～55)
17:30	閉会の辞 (17:30～17:35)	<b>その他の腫瘍4</b> (16:12～16:48) 座長：福岡 和也 (56～59)
		<b>その他の腫瘍5</b> (16:48～17:24) 座長：守本 明枝 (60～63)

第3会場 (10F/1002)	第4会場 (10F/1004・1005)	第5会場 (10F/1006・1007)	
			8:55
			9:00
<b>結核 1</b> (9:00～9:36) 座長：露口 一成 (64～67)	<b>間質性肺炎 1</b> (9:00～9:36) 座長：富岡 洋海 (105～108)	<b>慢性閉塞性肺疾患</b> (9:00～9:45) 座長：南方 良章 (149～153)	
<b>結核 2</b> (9:36～10:03) 座長：佐藤 敦夫 (68～70)	<b>間質性肺炎 2</b> (9:36～10:03) 座長：西村 尚志 (109～111)	<b>アレルギー性肺疾患 1</b> (9:45～10:12) 座長：山口 将史 (154～156)	10:00
<b>非結核性抗酸菌症 1</b> (10:03～10:39) 座長：羽白 高 (71～74)	<b>自己免疫性肺疾患</b> (10:03～10:39) 座長：佐々木 信 (112～115)	<b>アレルギー性肺疾患 2</b> (10:12～10:48) 座長：上田 哲也 (157～160)	
<b>非結核性抗酸菌症 2</b> (10:39～11:24) 座長：北田 清悟 (75～79)	<b>ウェゲナー肉芽腫症</b> (10:39～11:06) 座長：長尾 大志 (116～118)	<b>呼吸不全</b> (10:48～11:42) 座長：坪井 知正 (161～166)	11:00
	<b>血管炎</b> (11:06～11:42) 座長：杉田 孝和 (119～122)		
			12:00
<b>日本結核病学会近畿支部 評議員会</b> (12:15～13:00)	<b>ランチョンセミナー 2</b> (12:00～13:00) 気管支喘息治療のテーラーメイド化は進む のか？～配合薬の協調的使用法も含めて～ 座長：東田 有智 / 演者：田中 裕士 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社	<b>ランチョンセミナー 1</b> (12:00～13:00) 特発性肺線維症 —診断と治療の新展開 座長：井上 義一 / 演者：谷口 博之 共催：塩野義製薬株式会社	
			13:00
<b>肺炎 2</b> (13:30～14:06) 座長：竹中 雅彦 (80～83)	<b>その他の腫瘍 6</b> (13:30～14:06) 座長：櫻本 稔 (123～126)	<b>希少肺疾患・その他 2</b> (13:30～14:06) 座長：高橋 憲一 (167～170)	14:00
<b>肺化膿症・膿胸</b> (14:06～15:00) 座長：竹中 英昭 (84～89)	<b>その他の間質性肺炎・サルコイ ドシス</b> (14:06～14:51) 座長：鴨井 博 (127～131)	<b>希少肺疾患・その他 3</b> (14:06～14:42) 座長：寺田 邦彦 (171～174)	
<b>その他の感染症</b> (15:00～15:45) 座長：松岡 弘典 (90～94)	<b>薬剤性肺炎・肺障害 1</b> (14:51～15:36) 座長：芥川 茂 (132～136)	<b>肺循環障害 2</b> (14:42～15:36) 座長：重松三知夫 (175～180)	15:00
<b>胸膜・縦隔疾患</b> (15:45～16:21) 座長：中谷 光一 (95～98)	<b>薬剤性肺炎・肺障害 2</b> (15:36～16:12) 座長：伊藤 功朗 (137～140)	<b>治療手技・検査手技</b> (15:36～16:30) 座長：島田天美子 (181～186)	16:00
<b>肺循環障害 1</b> (16:21～17:15) 座長：国定 慶太 (99～104)	<b>その他の肺障害・職業性疾患</b> (16:12～16:57) 座長：紙森 隆雄 (141～145)		
	<b>希少肺疾患・その他 1</b> (16:57～17:24) 座長：友田 恒一 (146～148)		17:00
			17:30

## 教育講演

【第1会場(10F/1003) 13:30～17:30】

### 1. オマリツマブが気管支喘息治療に与えたインパクト

座長：石原 享介（神戸市立医療センター西市民病院 院長）

演者：塩田 哲広（赤穂市民病院 呼吸器科 部長）

### 2. 結核最新の話

座長：倉澤 卓也（国立病院機構南京都病院 院長）

演者：鈴木 克洋（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 統括診療部長）

### 3. 慢性咳嗽の診断と治療

座長：西山 秀樹（日本赤十字社和歌山医療センター 副院長）

演者：新実 彰男（京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 准教授）

### 4. 肺がん薬物療法のワンポイントレッスン

座長：福岡 正博（近畿大学 名誉教授、和泉市立病院 がんセンター センター長）

演者：武田 晃司（大阪市立総合医療センター 臨床腫瘍センター長、臨床腫瘍科 部長）

## ランチョンセミナー

【12:00～13:00】

### 1. 特発性肺線維症—診断と治療の新展開—

座長：井上 義一（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター  
臨床研究センター 呼吸不全・難治性肺疾患研究部長）

演者：谷口 博之（公立陶生病院 参事 兼 呼吸器・アレルギー内科 部長）

共催：塩野義製薬株式会社

会場：第5会場(10F/1006・1007)

### 2. 気管支喘息治療のテーラーメイド化は進むのか？

～配合薬の協調的使用法も含めて～

座長：東田 有智（近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科 教授）

演者：田中 裕士（札幌医科大学医学部 内科学第三講座 准教授）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

会場：第4会場(10F/1004・1005)

### 3. 肺癌診療ガイドラインにおける進行期非小細胞肺癌の治療に関する改訂のポイント

座長：長谷川吉則（大阪府済生会中津病院 呼吸器内科 部長）

演者：瀬戸 貴司（国立病院機構九州がんセンター 統括診療部呼吸器科）

共催：日本イーライリリー株式会社

会場：第2会場(10F/1001)

# MEMO

---

# 第 1 会 場

10F/1003

開会の辞 (8:55~9:00)

会長 坂東 憲司

インフルエンザ1 (9:00~9:36)

座長 北 英 夫  
(高槻赤十字病院 呼吸器センター)

1. ニューマトセルを形成したインフルエンザ肺炎の一例  
済生会中和病院 内科<sup>1</sup>, 天理市立病院 内科<sup>2</sup>, 奈良県立医科大学 第2内科学講座<sup>3</sup>  
○大屋 修一<sup>1,2</sup>, 溝越 泰壽<sup>1</sup>, 徳山 猛<sup>1</sup>, 片山公美子<sup>1</sup>, 米川 真輔<sup>1</sup>, 長谷川 淳<sup>2,3</sup>,  
青野 英幸<sup>1</sup>, 新井 正伸<sup>1</sup>, 塚口 信彦<sup>1</sup>, 北田 裕陸<sup>1</sup>, 宮高 和彦<sup>1</sup>, 東口 隆一<sup>1</sup>,  
大貫 雅弘<sup>1</sup>, 木村 弘<sup>3</sup>
2. 新型インフルエンザにA群β溶血性連鎖球菌による毒素性ショック症候群を合併した1例  
市立堺病院 呼吸器内科  
○郷間 巖, 岡田麻衣子, 西田 幸司, 大田 加与, 三宅浩太郎, 伊木れい佳,  
大成 功一
3. 季節性インフルエンザワクチンによる薬剤性肺炎と考えた1例  
高槻赤十字病院 呼吸器センター  
○佐渡 紀克, 金光 禎寛, 西原 祐美, 西川 滋人, 片山 優子, 谷村 和哉,  
村田真理子, 伏屋 芳紀, 菅 理晴, 千葉 渉, 北 英夫
4. 新型インフルエンザワクチン接種後にARDSを来たした一例  
神鋼病院 呼吸器センター  
○出口 美鳥, 領家 永遠, 狛 泰子, 福光 研介, 松岡 弘典, 吉松 昭和,  
笠井 由隆, 枳屋 大輝, 鈴木雄二郎

インフルエンザ2 (9:36~10:12)

座長 酒 井 直 樹  
(大津赤十字病院 呼吸器科)

5. 新型インフルエンザウイルス肺炎による急性呼吸不全の一例  
淀川キリスト教病院 呼吸器センター  
○新村 直子, 吉田 也恵, 井尻 尚樹, 小松 弘明, 鍋谷大二郎, 乾 恭子,  
上地 隆史, 大谷賢一郎, 三木 豊和, 柳生 恭子, 加地 政秀, 紙森 隆雄,  
藤原 寛
6. 当院で経験したインフルエンザ肺炎の検討  
明石市医師会立 明石医療センター  
○岩佐 直子, 吉村 将, 木南 佐織, 西馬 照明, 大西 尚

7. NPPVを行った小児パンデミックインフルエンザA (H1N1) 2009肺炎症例の検討  
大津赤十字病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 小児科<sup>2</sup>  
○高橋 憲一<sup>1</sup>, 岩朝 徹<sup>2</sup>, 今井 剛<sup>2</sup>, 金田 祥平<sup>1</sup>, 野口 進<sup>1</sup>, 中川 和彦<sup>1</sup>,  
森山あかり<sup>1</sup>, 豊 洋次郎<sup>1</sup>, 片倉 浩理<sup>1</sup>, 廣田 常夫<sup>2</sup>, 山中 晃<sup>1</sup>, 酒井 直樹<sup>1</sup>
8. タイの3次救急病院における新型インフルエンザ肺炎の実態  
大阪大学微生物病研究所 感染症国際研究センター  
○田村 和世, 大石 和徳

肺炎1 (10:12~10:57)

座長 林 三千雄  
(神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科)

9. *Klebsiella ozaenae*による壊死性大葉性肺炎を生じた大酒家の1例  
大阪府済生会中津病院 呼吸器内科  
○孫野 直起, 小野健太郎, 加藤 友美, 齊藤 隆一, 竹田 知史, 上田 哲也,  
長谷川吉則, 坂東 憲司
10. アルコール多飲者に発症した致死的カンジダ市中肺炎の1剖検例  
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 臨床病理科<sup>2</sup>  
○立川 良<sup>1</sup>, 竹下 純平<sup>1</sup>, 田中 広祐<sup>1</sup>, 松本 健<sup>1</sup>, 門田 和也<sup>1</sup>, 永田 一真<sup>1</sup>,  
桜井 綾子<sup>1</sup>, 南條 成輝<sup>1</sup>, 大塚今日子<sup>1</sup>, 加地 玲子<sup>1</sup>, 大塚浩二郎<sup>1</sup>, 林 三千雄<sup>1</sup>,  
片上 信之<sup>1</sup>, 富井 啓介<sup>1</sup>, 今井 幸弘<sup>2</sup>
11. 大量咯血を伴い受診6時間後に死亡した *Aeromonas hydrophila* 肺炎の一例  
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科  
○永田 一真, 田中 広祐, 松本 健, 門田 和也, 南條 成輝, 大塚今日子,  
立川 良, 大塚浩二郎, 林 三千雄, 富井 啓介
12. 同一温泉施設での感染が疑われたレジオネラ肺炎の2例  
国立病院機構姫路医療センター  
○三村 一行, 大西 康貴, 鏡 亮吾, 勝田 倫子, 横山 俊秀, 渡部 悦子,  
田畑 寿子, 宮川 倫子, 真弓哲一郎, 水守 康之, 塚本 宏壮, 守本 明枝,  
岡本 裕子, 佐々木 信, 河村 哲治, 中原 保治, 望月 吉郎
13. オウム病肺炎10例における臨床的検討  
大阪府済生会中津病院 呼吸器内科  
○小野健太郎, 加藤 友美, 齊藤 隆一, 孫野 直起, 竹田 知史, 上田 哲也,  
長谷川吉則, 坂東 憲司

14. 肺癌術後の残存空洞に慢性壊死性肺アスペルギルス症を合併した一例  
兵庫県立加古川医療センター 呼吸器内科  
○土屋 貴昭, 日下部祥人, 加堂 哲治
15. 気管支鏡下での吸引痰培養が診断の決め手となった慢性壊死性肺アスペルギルス症の一例  
大阪市立総合医療センター 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 臨床腫瘍科<sup>2</sup>  
○谷口 紫野<sup>1</sup>, 田中 彩子<sup>1</sup>, 宮本奈津子<sup>1</sup>, 西島 正剛<sup>1</sup>, 住谷 充弘<sup>1</sup>, 少路 誠一<sup>1</sup>,  
岡田 秀明<sup>2</sup>, 小林 真也<sup>2</sup>, 駄賀 晴子<sup>2</sup>, 武田 晃司<sup>2</sup>
16. 気管支食道瘻に合併した肺アスペルギルス感染症の一例  
近畿大学医学部奈良病院 呼吸器・アレルギー内科<sup>1</sup>, 奈良県立奈良病院 呼吸器外科<sup>2</sup>,  
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科<sup>3</sup>  
○田村 光信<sup>1</sup>, 中島 宏和<sup>1</sup>, 澤口博千代<sup>1</sup>, 中島 重徳<sup>1</sup>, 村木 正人<sup>1</sup>, 川口 剛史<sup>2</sup>,  
櫛部 圭司<sup>2</sup>, 東田 有智<sup>3</sup>
17. 無治療の糖尿病患者に発生し気管支腔内に広範囲の菌塊付着を認めた侵襲性肺アスペルギルス症の一例  
大阪市立総合医療センター 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 臨床腫瘍科<sup>2</sup>  
○荒木 美香<sup>1</sup>, 田中 彩子<sup>1</sup>, 宮本奈津子<sup>1</sup>, 西島 正剛<sup>1</sup>, 住谷 充弘<sup>1</sup>, 少路 誠一<sup>1</sup>,  
岡田 秀明<sup>2</sup>, 小林 真也<sup>2</sup>, 駄賀 晴子<sup>2</sup>, 武田 晃司<sup>2</sup>
18. 慢性肉芽腫症患者に発症したびまん性肺アスペルギルス症の一例  
京都大学 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 血液腫瘍内科<sup>2</sup>  
○伊藤 功朗<sup>1</sup>, 松本 久子<sup>1</sup>, 新実 彰男<sup>1</sup>, 三嶋 理晃<sup>1</sup>, 山下 浩平<sup>2</sup>

## 教育講演 (13:30～17:30)

---

1) オマリツマブが気管支喘息治療に与えたインパクト (13:30～14:30)

座長：石原 享介 (神戸市立医療センター西市民病院 院長)

演者：塩田 哲広 (赤穂市民病院 呼吸器科 部長)

2) 結核最新の話 (14:30～15:30)

座長：倉澤 卓也 (国立病院機構南京都病院 院長)

演者：鈴木 克洋 (国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 統括診療部長)

3) 慢性咳嗽の診断と治療 (15:30～16:30)

座長：西山 秀樹 (日本赤十字社和歌山医療センター 副院長)

演者：新実 彰男 (京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 准教授)

4) 肺がん薬物療法のワンポイントレッスン (16:30～17:30)

座長：福岡 正博 (近畿大学 名誉教授、和泉市立病院 がんセンター センター長)

演者：武田 晃司 (大阪市立総合医療センター 臨床腫瘍センター長、臨床腫瘍科 部長)

---

閉会の辞 (17:30～17:35)

会長 坂東 憲司

## 第 2 会 場

10F/1001

肺癌 1 (9:00 ~ 9:54)

座長 若 山 俊 明  
(大阪赤十字病院 呼吸器科)

19. 肺クリプトコッカス症に肺癌を合併した1例  
天理よろづ相談所病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>  
○池添 浩平<sup>1</sup>, 辻 貴宏<sup>1</sup>, 日和 良介<sup>1</sup>, 中塚 賀也<sup>1</sup>, 福永健太郎<sup>1</sup>, 加持 雄介<sup>1</sup>,  
安田 武洋<sup>1</sup>, 橋本 成修<sup>1</sup>, 寺田 邦彦<sup>1</sup>, 羽白 高<sup>1</sup>, 田中 栄作<sup>1</sup>, 田口 善夫<sup>1</sup>,  
中川 達雄<sup>2</sup>, 神頭 徹<sup>2</sup>
20. 免疫組織学的検索により診断につながった原発不明の肺腺癌胸壁転移の一例  
松下記念病院 呼吸器科  
○松浦 潤, 角谷 昌俊, 土橋麻由子, 藤井 渉, 笠松 悠, 川端 健二,  
笠松 美宏
21. 肺原発印環細胞癌の一例  
大阪赤十字病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 病理部<sup>2</sup>  
○花岡 健司<sup>1</sup>, 黄 文禧<sup>1</sup>, 長野 宏昭<sup>1</sup>, 時岡 史明<sup>1</sup>, 中村 保清<sup>1</sup>, 吉村 千恵<sup>1</sup>,  
若山 俊明<sup>1</sup>, 西坂 泰夫<sup>1</sup>, 網谷 良一<sup>1</sup>, 若狭 朋子<sup>2</sup>
22. びまん性粒状陰影と空洞性病変を伴った粘液産生型肺腺癌の1例  
神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科  
○山本 聡美, 榎木 暢子, 富田菜々子, 中田 恭介, 船田 泰弘, 小谷 義一,  
西村 善博
23. 急速に進行して死亡したPET陰性粘液産生性BACの一例  
赤穂市民病院 呼吸器科  
○楊 培世, 塩田 哲広, 山口 将史
24. 肺癌治療におけるFDG-PET/CTの早期効果判定の有用性の検討  
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター<sup>1</sup>, 阪和インテリジェント医療センター<sup>2</sup>,  
近畿大学医学部堺病院<sup>3</sup>  
○金津 正樹<sup>1</sup>, 浅見 和弘<sup>1</sup>, 濱口 幸子<sup>1</sup>, 倉原 優<sup>1</sup>, 辻 泰佑<sup>1</sup>, 中尾 桂子<sup>1</sup>,  
西江 健一<sup>1</sup>, 後藤 孝吉<sup>1</sup>, 廣岡 亜矢<sup>1</sup>, 竹内奈緒子<sup>1</sup>, 香川 智子<sup>1</sup>, 玉置 岳史<sup>1</sup>,  
田宮 朗裕<sup>1</sup>, 松田 能宣<sup>1</sup>, 山中 秀樹<sup>1</sup>, 沖塩 協一<sup>1</sup>, 川口 知哉<sup>1</sup>, 安宅 信二<sup>1</sup>,  
丸山 薫<sup>2</sup>, 高田 實<sup>3</sup>

肺癌 2 (9:54 ~ 10:39)

座長 山本 傑  
(大阪警察病院 呼吸器科)

25. 小腸転移によるイレウスで発見された肺腺癌の1例  
松下記念病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 京都府立医科大学附属病院 膠原病内科<sup>2</sup>  
○土橋麻由子<sup>1</sup>, 松浦 潤<sup>1</sup>, 藤井 渉<sup>2</sup>, 笠松 悠<sup>1</sup>, 角谷 昌俊<sup>1</sup>, 笠松 美宏<sup>1</sup>
26. 脳下垂体転移を呈した小細胞肺癌の一例  
国立病院機構京都医療センター 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 脳神経外科<sup>2</sup>, 同 検査科<sup>3</sup>  
○金井 修<sup>1</sup>, 陣内 牧子<sup>1</sup>, 葉山 学<sup>1</sup>, 山口 将<sup>2</sup>, 田中 博之<sup>1</sup>, 岡村 美里<sup>1</sup>,  
山本 鉄郎<sup>3</sup>, 南口早智子<sup>3</sup>, 佐々木義行<sup>1</sup>
27. 肺癌の下垂体転移により下垂体機能低下症を認めた1例  
大阪警察病院<sup>1</sup>, 大阪府立呼吸器アレルギー医療センター<sup>2</sup>  
○仲谷 健史<sup>1</sup>, 小牟田 清<sup>1</sup>, 山本 傑<sup>1</sup>, 緒方 嘉隆<sup>1</sup>, 南 誠剛<sup>1</sup>, 小林知加子<sup>1</sup>,  
白山 敬之<sup>2</sup>, 岡藤 浩平<sup>2</sup>, 濱口 眞成<sup>1</sup>, 竹内 美子<sup>1</sup>
28. 急激な肺高血圧および心不全を呈した肺腺癌の一例  
大阪府済生会千里病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 千里救命救急センター<sup>2</sup>  
○美馬 尚徳<sup>1</sup>, 倉田香菜子<sup>1</sup>, 鈴木真優美<sup>1</sup>, 古川 貢<sup>1</sup>, 船越 俊幹<sup>1</sup>, 波多野麻依<sup>2</sup>,  
大場 次郎<sup>2</sup>
29. 著しい肺高血圧の進行をみた pulmonary tumor thrombotic microangiopathy の外科的  
肺生検診断例  
神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 病理科<sup>3</sup>  
○山下 修司<sup>1</sup>, 富岡 洋海<sup>1</sup>, 金田 俊彦<sup>1</sup>, 木田 陽子<sup>1</sup>, 金子 正博<sup>1</sup>, 藤井 宏<sup>1</sup>,  
竹尾 正彦<sup>2</sup>, 勝山 栄治<sup>3</sup>

肺癌 3 (10:39 ~ 11:15)

座長 郷 間 巖  
(市立堺病院 呼吸器内科)

30. 肺腺癌に合併した肺性肥大性骨関節症の一例  
石切生喜病院 呼吸器科  
○松井 秀記, 晋山 真実, 野村 奈穂, 江口 陽介, 南 謙一
31. 癌関連網膜症発症により早期診断に至った小細胞肺癌の一例  
京都大学医学部附属病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 眼科<sup>2</sup>  
○太田 千尋<sup>1</sup>, 金 永学<sup>1</sup>, 黄瀬 大輔<sup>1</sup>, 樽見 映里<sup>2</sup>, 橋本 教正<sup>1</sup>, 西嶋 一晃<sup>2</sup>,  
三尾 直士<sup>1</sup>, 三嶋 理晃<sup>1</sup>
32. 傍腫瘍症候群として視神経脊髄炎の関与が疑われた肺腺癌の一例  
市立加西病院 内科<sup>1</sup>, 同 神経内科<sup>2</sup>, 神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科<sup>3</sup>  
○奥野 恵子<sup>1</sup>, 石原 広之<sup>2</sup>, 小林 和幸<sup>3</sup>, 小谷 義一<sup>3</sup>, 西村 善博<sup>3</sup>

33. 演題取り下げ

肺癌 4 (11:15 ~ 11:51)

座長 池田 宗一郎  
(大阪医科大学 第一内科)

34. 肺結核を合併した肺癌と腎癌の二重癌の一例

大阪府立急性期・総合医療センター 内科・呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理科<sup>2</sup>, 同 泌尿器科<sup>3</sup>,  
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 呼吸器内科<sup>4</sup>

○湊 健太<sup>1</sup>, 高島 純平<sup>1</sup>, 尾本 幸治<sup>1</sup>, 秋山 太助<sup>1</sup>, 多河 広史<sup>1</sup>, 元根 正晴<sup>1</sup>,  
有住 俊広<sup>1</sup>, 谷尾 吉郎<sup>1</sup>, 島津 宏樹<sup>2</sup>, 伏見 博彰<sup>2</sup>, 谷川 剛<sup>3</sup>, 庄田 武司<sup>4</sup>

35. 同時多発肺腺癌の1切除例

大阪医科大学 第一内科学講座

○藤田 一彦, 吉田 修平, 坂東 園子, 玉舎 学, 高須太三郎, 池田宗一郎,  
後藤 功, 花房 俊昭

36. 異時性肺多発癌(腺癌, 扁平上皮癌, 大細胞癌)の1切除例

大阪医科大学付属病院 胸部外科

○東 薫, 市橋 良夫, 佐藤 澄, 森田 琢也, 花岡 伸治, 勝間田敬弘

37. 当院における second primary lung cancer の検討

大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器病態制御内科学

○武田 倫子, 天野 祥子, 玉垣 学也, 小林 大起, 白土 直子, 梅川加奈子,  
鈴村 倫弘, 永田 光里, 藤本 寛樹, 渡邊 徹也, 田中 秀典, 一丸 之寿,  
光岡 茂樹, 浅井 一久, 姜 成勲, 木村 達郎, 鴨井 博, 金澤 博,  
工藤 新三, 平田 一人

肺癌 5 (13:30 ~ 14:24)

座長 笹田 真滋  
(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 肺腫瘍内科)

38. EGFR 遺伝子変異陽性肺扁平上皮癌の一例

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 肺腫瘍内科<sup>1</sup>, 同 病理診断科<sup>2</sup>

○軸屋龍太郎<sup>1</sup>, 平島 智徳<sup>1</sup>, 田宮 基裕<sup>1</sup>, 東口 将佳<sup>1</sup>, 津森 鉄平<sup>1</sup>, 松浦 由佳<sup>1</sup>,  
森下 直子<sup>1</sup>, 鈴木 秀和<sup>1</sup>, 笹田 真滋<sup>1</sup>, 岡本 紀雄<sup>1</sup>, 小林 政司<sup>1</sup>, 沖村 明<sup>2</sup>,  
河原 邦光<sup>2</sup>, 川瀬 一郎

39. gefitinib が生命予後に寄与した多発性転移性脳腫瘍の1例報告

市立岸和田市民病院 呼吸アレルギー科<sup>1</sup>, 府中病院 呼吸器内科<sup>2</sup>, 市立岸和田病院  
呼吸器外科<sup>3</sup>

○寺西 敬<sup>1</sup>, 小林 岳彦<sup>1</sup>, 堤 紀子<sup>1</sup>, 樋上 雄一<sup>1</sup>, 古下 義彦<sup>1</sup>, 後藤 俊介<sup>2</sup>,  
三浦 幸樹<sup>3</sup>, 川島 正裕<sup>3</sup>, 加藤 元一<sup>1</sup>

40. ベバシズマブが奏功した肉腫型肺癌の1例  
 国立病院機構刀根山病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 病理部<sup>3</sup>  
 ○菅野 哲平<sup>1</sup>, 灘波 良信<sup>1</sup>, 各務 慎一<sup>1</sup>, 新中 学<sup>1</sup>, 矢野 幸洋<sup>1</sup>, 木村 裕美<sup>1</sup>,  
 米田 勉<sup>1</sup>, 森 雅秀<sup>1</sup>, 山口 俊彦<sup>1</sup>, 横田総一郎<sup>1</sup>, 木村 亨<sup>2</sup>, 前田 元<sup>2</sup>,  
 上田 佳世<sup>3</sup>
41. 肺胞上皮癌 (BAC) に対して Bevacizumab (BV) を投与した一例  
 滋賀医科大学 呼吸器内科  
 ○榊田 元, 長尾 大志, 坂下 拓人, 重森 度, 龍神 慶, 神田 理恵,  
 和田 広, 山田 英人, 小熊 哲也, 大澤 真, 中野 恭幸
42. 非小細胞肺癌にベバシツマブを投与し消化管出血で死亡した一例  
 関西医科大学附属枚方病院 呼吸器内科  
 ○木畑佳代子, 横井 崇, 鳥居芳太郎, 片芝 雄一, 谷尻 力, 米津 精文,  
 野村 昌作
43. 肺腺癌に対し放射線治療後、Bevacizumab 使用中に発症した気管瘻孔の1例  
 滋賀医科大学 呼吸循環器内科<sup>1</sup>, 静岡がんセンター<sup>2</sup>, 滋賀医科大学 卒後臨床研修セ  
 ンター<sup>3</sup>  
 ○重森 度<sup>1</sup>, 山田 英人<sup>1</sup>, 坂口 才<sup>2</sup>, 川口 剛史<sup>3</sup>, 坂下 拓人<sup>1</sup>, 榊田 元<sup>1</sup>,  
 神田 理恵<sup>1</sup>, 龍神 慶<sup>1</sup>, 和田 広<sup>1</sup>, 小熊 哲也<sup>1</sup>, 大澤 真<sup>1</sup>, 長尾 大志<sup>1</sup>,  
 中野 恭幸<sup>1</sup>

#### その他の腫瘍 1 (14:24~15:00)

座長 遠 藤 和 夫  
 (兵庫県立尼崎病院 呼吸器内科)

44. 肺コレステリン肉芽腫の一例  
 滋賀医科大学附属病院 呼吸器内科  
 ○坂下 拓人, 重森 度, 榊田 元, 神田 理恵, 龍神 慶, 和田 広,  
 小熊 哲也, 山田 英人, 大澤 真, 長尾 大志, 中野 恭幸
45. 術前に肺腺癌と診断され、手術標本にて壊死性リンパ節炎合併の肺硬化性血管腫と確定  
 診断された一例  
 兵庫県立がんセンター 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理診断科<sup>2</sup>  
 ○倉本 衣美<sup>1</sup>, 里内美弥子<sup>1</sup>, 早川 美緒<sup>1</sup>, 服部 剛弘<sup>1</sup>, 島田天美子<sup>1</sup>, 浦田 佳子<sup>1</sup>,  
 根来 俊一<sup>1</sup>, 酒井 康裕<sup>2</sup>, 大林 千穂<sup>2</sup>
46. 孤在性繊維性腫瘍の一例  
 西神戸医療センター 呼吸器科  
 ○濱川 正光, 池田 顕彦, 多田 公英, 桜井 稔康, 大寺 博

47. 空洞を伴う多発結節影を呈した直腸癌肺転移の1例

兵庫県立尼崎病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理部<sup>2</sup>

○片岡 裕貴<sup>1</sup>, 嶋田 雅俊<sup>1</sup>, 二階堂純一<sup>1</sup>, 平野 勝也<sup>1</sup>, 平位 知之<sup>1</sup>, 原 良和<sup>1</sup>,  
遠藤 和夫<sup>1</sup>, 三村 六郎<sup>2</sup>, 平林 正孝<sup>1</sup>

その他の腫瘍2 (15:00~15:36)

座長 木 島 貴 志

(大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科)

48. 気管支内腔に赤色調の腫瘤を形成した悪性黒色腫肺転移の一例

大阪府済生会中津病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 耳鼻咽喉科・頭頸部外科<sup>3</sup>

○小野健太郎<sup>1</sup>, 加藤 友美<sup>1</sup>, 齊藤 隆一<sup>1</sup>, 孫野 直起<sup>1</sup>, 竹田 知史<sup>1</sup>, 上田 哲也<sup>1</sup>,  
長谷川吉則<sup>1</sup>, 坂東 憲司<sup>1</sup>, 岩永幸一郎<sup>2</sup>, 東川 雅彦<sup>3</sup>

49. 健診にて発見された肺悪性黒色腫の一例

西神戸医療センター 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 皮膚科<sup>3</sup>, 同 病理科<sup>4</sup>,

兵庫県立がんセンター 呼吸器外科<sup>5</sup>

○大寺 博<sup>1</sup>, 濱川 正光<sup>1</sup>, 桜井 稔泰<sup>1</sup>, 多田 公英<sup>1</sup>, 池田 顕彦<sup>1</sup>, 青木 稔<sup>2</sup>,  
堀川 達弥<sup>3</sup>, 橋本 公夫<sup>4</sup>, 多根 健太<sup>5</sup>

50. 肺原発Primitive Neuroectodermal Tumor (PNET) の1例

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科<sup>1</sup>, 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター<sup>2</sup>, 大阪府立成人病センター

○嶋田 和貴<sup>1</sup>, 合屋 将<sup>1</sup>, 鉄本 訓史<sup>1</sup>, 久原 華子<sup>1</sup>, 平田 陽彦<sup>1</sup>, 高橋 良<sup>1</sup>,  
長友 泉<sup>1</sup>, 武田 吉人<sup>1</sup>, 木田 博<sup>3</sup>, 木島 貴志<sup>1</sup>, 熊谷 融<sup>3</sup>, 立花 功<sup>1</sup>,  
川瀬 一郎<sup>2</sup>

51. 縦隔原発PNET (primitive neuroectodermal tumor) の一症例

大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器病態制御内科学

○姜 成勲, 中井 俊之, 玉垣 学也, 武田 倫子, 白土 直子, 小林 大起,  
渡辺 徹也, 藤本 寛樹, 永田 光里, 鈴木 倫弘, 梅川加奈子, 田中 秀典,  
一丸 之寿, 光岡 茂樹, 浅井 一久, 木村 達郎, 鴨井 博, 金澤 博,  
工藤 新三, 平田 一人

その他の腫瘍3 (15:36~16:12)

座長 大 政 貢

(北野病院 呼吸器センター外科部門)

52. 胸壁静脈性血管腫の1例

国立病院機構姫路医療センター

○大西 康貴, 鏡 亮吾, 勝田 倫子, 三村 一行, 横山 俊秀, 渡辺 悦子,  
田畑 寿子, 宮川 倫子, 真弓哲一郎, 水守 康之, 塚本 宏壮, 守本 明枝,  
岡本 裕子, 佐々木 信, 河村 哲治, 中原 保治, 望月 吉郎

53. 胸腔鏡で診断が得られた未分化多型性肉腫の一例  
和歌山県立医科大学付属病院 内科学第3講座  
○川端 宏樹, 平野 綱彦, 菊池 崇史, 神田 匡兄, 柳沢 悟, 古川加奈子,  
市川 朋宏, 小荒井 晃, 赤松啓一郎, 中西 正典, 杉浦 久敏, 松永 和人,  
南方 良章, 一ノ瀬正和
54. 喘鳴を契機に診断された気管原発神経鞘腫の1例  
愛仁会高槻病院 呼吸器内科  
○徳永俊太郎, 桐生 辰徳, 竹中かおり, 城谷 知彦, 竹中 和広
55. 17歳女性の後縦隔に発生した巨大交感神経節腫瘍の1手術例  
田附興風会医学研究所北野病院 呼吸器センター外科部門  
○徳野 純子, 上田雄一郎, 岡部 亮, 高橋 剛士, 大政 貢, 瀧 俊彦

#### その他の腫瘍4 (16:12~16:48)

座長 福岡 和也

(兵庫医科大学 内科学 呼吸器・RCU科)

56. GVHD様反応による紅皮症を呈した浸潤性胸腺腫の1例  
神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科  
○富田菜々子, 中田 恭介, 畠山由記久, 永野 達也, 山本 聡美, 樋木 暢子,  
船田 泰弘, 小谷 義一, 西村 善博
57. 若年女性に発症した悪性胸膜中皮腫の一例  
兵庫医科大学 内科学 呼吸器・RCU科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 病理学講座 分子病理部門<sup>3</sup>  
○政近江利子<sup>1</sup>, 山田 秀哉<sup>1</sup>, 福岡 和也<sup>1</sup>, 大搦泰一郎<sup>1</sup>, 三上 浩司<sup>1</sup>, 前田 理沙<sup>1</sup>,  
野木 佳孝<sup>1</sup>, 平山 倫子<sup>1</sup>, 寺田 貴普<sup>1</sup>, 安光 亮洋<sup>1</sup>, 岡田あすか<sup>1</sup>, 村上 亜紀<sup>1</sup>,  
田村 邦宣<sup>1</sup>, 栗林 康造<sup>1</sup>, 田端 千春<sup>1</sup>, 中野 孝司<sup>1</sup>, 田中 文啓<sup>2</sup>, 長谷川誠紀<sup>2</sup>,  
鳥井 郁子<sup>3</sup>, 辻村 亨<sup>3</sup>
58. 悪性胸膜中皮腫診断における胸水中CYFRA/CEA比の有用性  
大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 肺腫瘍内科  
○鈴木 秀和, 平島 智徳, 小林 政司, 笹田 真滋, 岡本 紀雄, 田宮 基裕,  
森下 直子, 松浦 由佳, 上原 暢子, 津森 鉄平, 東口 将佳, 軸屋龍太郎,  
川瀬 一郎
59. 胸膜悪性中皮腫との鑑別を要した、胸腔内平滑筋肉腫の一例  
滋賀県立成人病センター 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理診断部<sup>2</sup>,  
国立病院機構京都医療センター 呼吸器内科<sup>3</sup>  
○中奥 敬史<sup>1</sup>, 岡村 美里<sup>3</sup>, 泰間 美紀<sup>1</sup>, 野原 淳<sup>1</sup>, 渡邊 壽規<sup>1</sup>, 中谷 光一<sup>1</sup>,  
寺島 剛<sup>2</sup>, 武内 英二<sup>2</sup>

60. 気管支鏡検査で確定診断でき無治療で病勢の進行の無い肺MALTリンパ腫の1例  
宝塚市立病院 呼吸器内科  
○金森 斎修, 神谷 瞳, 花咲 毅, 竹中 雅彦, 松田 良信
61. FDG-PETにて軽度の集積を認めた肺MALTリンパ腫の1切除例  
神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 病理科<sup>3</sup>  
○小野 洋嗣<sup>1</sup>, 富岡 洋海<sup>1</sup>, 金田 俊彦<sup>1</sup>, 木田 陽子<sup>1</sup>, 金子 正博<sup>1</sup>, 藤井 宏<sup>1</sup>,  
竹尾 正彦<sup>2</sup>, 勝山 栄治<sup>3</sup>
62. 胸壁腫瘍で発見された多発性骨髄腫の一例  
兵庫医科大学 内科学呼吸器・RCU科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 病院病理部<sup>3</sup>  
○大桑 久弥<sup>1</sup>, 田村 邦宣<sup>1</sup>, 福岡 和也<sup>1</sup>, 大搦泰一郎<sup>1</sup>, 三上 浩司<sup>1</sup>, 前田 理沙<sup>1</sup>,  
野木 佳孝<sup>1</sup>, 平山 倫子<sup>1</sup>, 寺田 貴善<sup>1</sup>, 安光 亮洋<sup>1</sup>, 岡田あすか<sup>1</sup>, 村上 亜紀<sup>1</sup>,  
山田 秀哉<sup>1</sup>, 栗林 康造<sup>1</sup>, 田端 千春<sup>1</sup>, 中野 孝司<sup>1</sup>, 田中 文啓<sup>2</sup>, 長谷川誠紀<sup>2</sup>,  
塚本 吉胤<sup>3</sup>, 廣田 誠一<sup>3</sup>
63. MALTomaが疑われた多発性骨髄腫合併肺アミロイドーシスの1例  
国立病院機構姫路医療センター 呼吸器内科<sup>1</sup>, 天理よろづ相談所病院 病理<sup>2</sup>  
○渡部 悦子<sup>1</sup>, 大西 康貴<sup>1</sup>, 鏡 亮吾<sup>1</sup>, 勝田 倫子<sup>1</sup>, 三村 一行<sup>1</sup>, 横山 俊秀<sup>1</sup>,  
田畑 寿子<sup>1</sup>, 宮川 倫子<sup>1</sup>, 真弓哲一郎<sup>1</sup>, 水守 康之<sup>1</sup>, 塚本 宏壯<sup>1</sup>, 守本 明枝<sup>1</sup>,  
岡本 裕子<sup>1</sup>, 佐々木 信<sup>1</sup>, 河村 哲治<sup>1</sup>, 中原 保治<sup>1</sup>, 望月 吉郎<sup>1</sup>, 小橋陽一郎<sup>2</sup>

# 第 3 会 場

10F/1002

結核 1 (9:00~9:36)

座長 露 口 一 成

(国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 内科)

64. 皮膚病変を契機に発見された肺結核の1例

浅香山病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 泉大津市立病院 呼吸器内科<sup>2</sup>, 浅香山病院 皮膚科<sup>3</sup>

○伊東 友好<sup>1,2</sup>, 永田 光里<sup>1</sup>, 松浦 邦臣<sup>1</sup>, 渡邊勢津子<sup>1</sup>, 吉田 慶子<sup>3</sup>, 谷口 彰治<sup>3</sup>

65. 手関節結核の一例

国立病院機構奈良医療センター 内科<sup>1</sup>, 同 整形外科<sup>2</sup>

○岡村 英生<sup>1</sup>, 田中小百合<sup>1</sup>, 田村 緑<sup>1</sup>, 芳野 詠子<sup>1</sup>, 久下 隆<sup>1</sup>, 右田 尊史<sup>1</sup>,  
塚口 勝彦<sup>1</sup>, 田村 猛夏<sup>1</sup>, 森下 亨<sup>2</sup>, 藤間 保晶<sup>2</sup>, 島屋 正孝<sup>2</sup>

66. 7年後に対側に再発した結核性胸膜炎の1例

彦根市立病院 呼吸器科

○月野 光博, 渡邊 勇夫, 内田 泰樹, 林 栄一, 西川 忠男

67. リファンピシンによる薬剤性肺炎が疑われた肺結核の一例

国立病院機構南京都病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 内科<sup>2</sup>, 同 臨床研究部<sup>3</sup>

○西尾 智尋<sup>1</sup>, 佐藤 敦夫<sup>2</sup>, 坪井 知正<sup>3</sup>, 小栗 晋<sup>1</sup>, 水口 正義<sup>1</sup>, 角 謙介<sup>1</sup>,  
杉山 牧子<sup>1</sup>, 山下 みお<sup>1</sup>, 倉澤 卓也<sup>1</sup>

結核 2 (9:36~10:03)

座長 佐 藤 敦 夫

(国立病院機構南京都病院 呼吸器科)

68. INH耐性肺結核治療中に肝不全で死亡した1例—結核は生体肝移植の禁忌になるのか?—

大阪大学医学部附属病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 感染制御部<sup>2</sup>,

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター<sup>3</sup>

○高橋 良<sup>1</sup>, 鉄本 訓史<sup>1</sup>, 久原 華子<sup>1</sup>, 嶋田 和貴<sup>1</sup>, 平田 陽彦<sup>1</sup>, 立花 功<sup>1</sup>,  
橋本 章司<sup>2</sup>, 朝野 和典<sup>2</sup>, 松本 智成<sup>3</sup>, 川瀬 一郎<sup>3</sup>

69. 院内DOTS導入によって菌陰性化が早まるか

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 感染症内科

○田村 嘉孝, 韓 由紀, 松本 智成, 永井 崇之

70. 神戸市中央区の結核の現状

神戸市中央区保健福祉部<sup>1</sup>, 神戸市保健所<sup>2</sup>, 神戸市環境保健研究所<sup>3</sup>

○藤山 理世<sup>1,2</sup>, 水尻 節子<sup>2</sup>, 白井 千香<sup>2</sup>, 樋口 純子<sup>2</sup>, 河上 靖登<sup>2</sup>, 岩本 朋忠<sup>3</sup>

非結核性抗酸菌症 1 (10:03~10:39)

座長 羽 白 高  
(天理よろづ相談所病院 呼吸器内科)

71. 器質化肺炎との鑑別を必要とした肺 *Mycobacterium avium complex* 感染症の1例  
彦根市立病院 呼吸器科  
○渡邊 勇夫, 月野 光博, 林 栄一, 西川 忠男, 内田 泰樹
72. FDG-PETで強い集積を認めた *Mycobacterium avium* 症の1例  
滋賀医科大学 呼吸器内科  
○上田 桂子, 坂下 拓人, 重森 度, 梶田 元, 神田 理恵, 龍神 慶,  
和田 広, 山田 英人, 小熊 哲也, 大澤 真, 長尾 大志, 中野 恭幸
73. 孤立性結節陰影を呈した肺 MAC 症の2例  
天理よろづ相談所病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 放射線部<sup>2</sup>, 同 医学研究所病理<sup>3</sup>  
○加持 雄介<sup>1</sup>, 辻 貴宏<sup>1</sup>, 中塚 賀也<sup>1</sup>, 日和 良介<sup>1</sup>, 福永健太郎<sup>1</sup>, 池添 浩平<sup>1</sup>,  
安田 武洋<sup>1</sup>, 橋本 成修<sup>1</sup>, 寺田 邦彦<sup>1</sup>, 羽白 高<sup>1</sup>, 田中 栄作<sup>1</sup>, 田口 善夫<sup>1</sup>,  
野間 恵之<sup>2</sup>, 小橋陽一郎<sup>3</sup>
74. 非結核性抗酸菌症による胸膜炎の二症例  
神戸赤十字病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 内科<sup>2</sup>  
○杉本 啓介<sup>1</sup>, 齋藤 光<sup>1</sup>, 上田 裕介<sup>2</sup>, 國定 浩一<sup>2</sup>, 梶本 和宏<sup>1</sup>

非結核性抗酸菌症 2 (10:39~11:24)

座長 北 田 清 悟  
(国立病院機構刀根山病院 内科)

75. 間質影を呈した *Mycobacterium kansasii* (*M.kansasii*) 肺感染症の1例  
田附興風会医学研究所北野病院 呼吸器センター<sup>1</sup>, 同 臨床病理部<sup>2</sup>  
○石床 学<sup>1</sup>, 井上 大生<sup>1</sup>, 高松 和史<sup>1</sup>, 糸谷 涼<sup>1</sup>, 鈴木 進子<sup>1</sup>, 松本 正孝<sup>1</sup>,  
竹村 昌也<sup>1</sup>, 櫻本 稔<sup>1</sup>, 福井 基成<sup>1</sup>, 弓場 吉哲<sup>2</sup>
76. 播種性非結核性抗酸菌症の一例  
日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理部<sup>2</sup>  
○多木 誠人<sup>1</sup>, 森田 恭平<sup>1</sup>, 村瀬 博紀<sup>1</sup>, 杉尾 裕美<sup>1</sup>, 中川 淳<sup>1</sup>, 古田健二郎<sup>1</sup>,  
馬庭 厚<sup>1</sup>, 池上 達義<sup>1</sup>, 杉田 孝和<sup>1</sup>, 堀川 禎夫<sup>1</sup>, 西山 秀樹<sup>1</sup>, 小野 一雄<sup>2</sup>
77. 浸潤型胸腺腫・重症筋無力症治療中に発症した *Mycobacterium abscessus* による播種性  
非定型抗酸菌症の1例  
京都府立医科大学附属病院 呼吸器内科  
○千原 佑介, 今林 達哉, 伊達 紘二, 小山 泰規, 田宮 暢代, 平松 真,  
竹村 佳純, 中西 雅樹, 河野 能士, 上田 幹雄, 有本太一郎, 岩崎 吉伸

78. MACと*M. abscessus*の混合感染をきたした一例  
天理よろづ相談所病院 呼吸器内科  
○辻 貴宏, 日和 良介, 中塚 賀也, 福永健太郎, 池添 浩平, 加持 雄介,  
安田 武洋, 橋本 成修, 寺田 邦彦, 羽白 高, 田中 栄作, 田口 善夫

79. 肺*Mycobacterium shinjukuense*症の1例  
国立病院機構南京都病院 内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器科<sup>2</sup>  
○佐藤 敦夫<sup>1</sup>, 小島真由美<sup>2</sup>, 倉澤 卓也<sup>2</sup>, 坪井 知正<sup>2</sup>, 小栗 晋<sup>2</sup>, 水口 正義<sup>2</sup>,  
角 謙介<sup>2</sup>, 西尾 智尋<sup>2</sup>, 杉山 牧子<sup>2</sup>

肺炎2 (13:30~14:06)

座長 竹 中 雅 彦  
(宝塚市立病院 呼吸器内科)

80. 電子カルテのテンプレート機能による市中肺炎診療標準化の試み  
市立堺病院 呼吸器内科  
○大成 功一, 郷間 巖, 大田 加与, 西田 幸司, 三宅浩太郎
81. 肺炎電子化クリニカルパスの導入について  
大阪警察病院 呼吸器内科  
○山本 傑, 濱口 真成, 竹内 美子, 仲谷 健史, 南 誠剛, 緒方 嘉隆,  
小林知加子, 小牟田 清
82. リネゾリドが有効であった重症肺炎の1例  
宝塚市立病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 緩和科<sup>2</sup>  
○神谷 瞳<sup>1</sup>, 竹中 雅彦<sup>1</sup>, 金森 斎修<sup>1</sup>, 松田 良信<sup>2</sup>
83. 緑膿菌による出血性肺炎が初発となった未診断SLEの一部検例  
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 臨床病理科<sup>2</sup>  
○門田 和也<sup>1</sup>, 永田 一真<sup>1</sup>, 田中 広祐<sup>1</sup>, 松本 健<sup>1</sup>, 大塚今日子<sup>1</sup>, 立川 良<sup>1</sup>,  
大塚浩二郎<sup>1</sup>, 林 三千雄<sup>1</sup>, 富井 啓介<sup>1</sup>, 今井 幸弘<sup>2</sup>

肺化膿症・膿胸 (14:06~15:00)

座長 竹 中 英 昭  
(済生会吹田病院 呼吸器内科)

84. S状結腸穿孔後腹膜炎により膿胸、肺膿瘍を併発した1手術例  
田附興風会北野病院 呼吸器センター外科系部門  
○岡部 亮, 上田雄一郎, 高橋 剛士, 大政 貢, 瀧 俊彦
85. 肺放線菌症の1例  
大阪市立十三市民病院 呼吸器内科  
○白石 訓, 高木 彩佳, 川口 俊

86. サルモネラ属が原因と考えられた細菌性胸膜炎の一例  
大阪厚生年金病院 内科  
○酒井 晋介, 田中 陽子, 田子謙太郎, 楢林 朋子, 鈴木 夕子, 佐々木義明
87. 咯血、感染を反復し、経気管支ドレナージで寛解せしめた有癭性膿胸の一例  
大阪府済生会野江病院 呼吸器内科  
○八木 由生, 伊藤 力, 山岡 新八
88. クリプトコッカス膿胸の1例  
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 内科<sup>1</sup>, 同 外科<sup>1</sup>, 同 臨床検査科<sup>3</sup>  
○倉原 優<sup>1</sup>, 佐々木由美子<sup>1</sup>, 玉置 岳史<sup>1</sup>, 杉本 親寿<sup>1</sup>, 松井 秀夫<sup>1</sup>, 露口 一成<sup>1</sup>,  
橘 和延<sup>1</sup>, 鈴木 克洋<sup>1</sup>, 桂 浩<sup>2</sup>, 北市 正則<sup>3</sup>, 林 清二<sup>1</sup>
89. 胸水よりノカルジアを検出した肺膿瘍の一例  
済生会吹田病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 兵庫医科大学 内科学呼吸器・RCU科<sup>2</sup>  
○鶴山 広樹<sup>1</sup>, 小口 展生<sup>1</sup>, 熊本 牧子<sup>1</sup>, 村上 伸介<sup>1</sup>, 竹中 英昭<sup>1</sup>, 長 澄人<sup>1</sup>,  
岡田あすか<sup>2</sup>

その他の感染症 (15:00～15:45)

座長 松岡 弘 典  
(神鋼病院 呼吸器センター)

90. 皮下埋め込み型CVポート関連の敗血症性肺塞栓症と考えられた1例  
大阪市立総合医療センター 臨床腫瘍科<sup>1</sup>, 同 呼吸器内科<sup>2</sup>  
○岡田 秀明<sup>1</sup>, 天野 公輔<sup>1</sup>, 平良 高一<sup>1</sup>, 小林 真也<sup>1</sup>, 徳永 伸也<sup>1</sup>, 駄賀 晴子<sup>1</sup>,  
武田 晃司<sup>1</sup>, 田中 彩子<sup>2</sup>, 宮本奈津子<sup>2</sup>, 西島 正剛<sup>2</sup>, 住谷 充弘<sup>2</sup>, 少路 誠一<sup>2</sup>
91. 内シャント感染から敗血症性肺塞栓を来たした透析患者の1症例  
大阪赤十字病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 腎臓内科<sup>2</sup>  
○西村 知子<sup>1</sup>, 長野 宏昭<sup>1</sup>, 黄 文禧<sup>1</sup>, 花岡 健司<sup>1</sup>, 時岡 史明<sup>1</sup>, 中村 保清<sup>1</sup>,  
吉村 千恵<sup>1</sup>, 若山 俊明<sup>1</sup>, 西坂 泰夫<sup>1</sup>, 網谷 良一<sup>1</sup>, 渡瀬 謙仁<sup>2</sup>
92. アトピー性皮膚炎と心室中隔欠損症に起因する右心系感染性心内膜炎による敗血症性肺塞栓症の一例  
神鋼病院  
○福光 研介, 出口 美鳥, 領家 永遠, 狛 泰子, 笠井 由隆, 松岡 弘典,  
榊屋 大輝, 吉松 昭和, 鈴木雄二郎
93. 肺癌と類似したPET所見を呈したウエステルマン肺吸虫症の1例  
高槻赤十字病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>  
○谷村 和哉<sup>1</sup>, 西川 滋人<sup>2</sup>, 西原 祐美<sup>1</sup>, 片山 優子<sup>1</sup>, 伏屋 芳紀<sup>1</sup>, 村田真理子<sup>2</sup>,  
金光 禎寛<sup>1</sup>, 菅 理晴<sup>2</sup>, 千葉 渉<sup>2</sup>, 北 英夫<sup>1</sup>

94. 好酸球性肺炎として加療中に血気胸を併発し、ウェステルマン肺吸虫症と診断し得た一例  
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科  
○松本 健, 永田 一真, 竹下 純平, 田中 広祐, 門田 和也, 南條 成輝,  
大塚今日子, 立川 良, 大塚浩二郎, 林 三千雄, 富井 啓介

胸膜・縦隔疾患 (15:45~16:21)

座長 中 谷 光 一  
(滋賀県立成人病センター 呼吸器内科)

95. 肺機能検査が誘因と考えられる気胸の一例  
和泉市立病院 呼吸器内科  
○佐藤佳奈子, 星 晋, 今橋由美子, 松下 晴彦
96. 縦隔内仮性膀胱嚢胞穿破による胸腔内出血の1例  
社会保険紀南病院 内科<sup>1</sup>, 南和歌山医療センター 胸部心臓血管外科<sup>2</sup>  
○田村 志宣<sup>1</sup>, 田村 崇<sup>1</sup>, 山岡 優子<sup>1</sup>, 谷口 文崇<sup>1</sup>, 松谷 紀彦<sup>1</sup>, 古久保ますみ<sup>1</sup>,  
那須 英紀<sup>1</sup>, 木村りつ子<sup>1</sup>, 藤本 特三<sup>1</sup>, 木下 貴裕<sup>2</sup>
97. 線維性縦隔炎に合併した乳び胸にソマトスタチンアナログが有効であった一例  
京都桂病院<sup>1</sup>, 京都大学医学部附属病院 呼吸器内科<sup>2</sup>  
○吉野谷清和<sup>1</sup>, 富樫 庸介<sup>2</sup>, 金 永学<sup>2</sup>, 真砂 勝泰<sup>2</sup>, 阪森 優一<sup>2</sup>, 三尾 直士<sup>2</sup>,  
三嶋 理晃<sup>2</sup>
98. 乳糜胸を合併した肺癌の1例  
奈良県立奈良病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>  
○伊藤 武文<sup>1</sup>, 大屋 貴広<sup>1</sup>, 川口 剛史<sup>2</sup>, 杉村 裕子<sup>1</sup>, 櫛部 圭司<sup>2</sup>, 竹澤 祐一<sup>1</sup>

肺循環障害 1 (16:21~17:15)

座長 国 定 慶 太  
(岸和田盈進会病院 喀血・肺循環センター)

99. 肺静脈還流異常がうたがわれた肺静脈奇形の一例  
吉野町国民健康保険吉野病院 内科<sup>1</sup>, 奈良県立医科大学 内科学第2講座<sup>2</sup>  
○福岡 篤彦<sup>1</sup>, 岩井 一哲<sup>1</sup>, 山本 夏子<sup>1</sup>, 甲斐 吉郎<sup>1</sup>, 国松 幹和<sup>1</sup>, 中野 哲志<sup>1</sup>,  
友田 恒一<sup>2</sup>, 吉川 雅則<sup>2</sup>, 木村 弘<sup>2</sup>
100. 肺出血を来たしたカテーテルアブレーション (ABL) 後肺静脈狭窄の一例  
明石医療センター 呼吸器内科  
○木南 佐織, 小澤 一之, 岩佐 直子, 吉村 将, 西馬 照明, 大西 尚
101. 肺血栓栓症として治療された肺動脈内膜肉腫の一切除例  
赤穂市民病院 呼吸器科  
○黒田 倫子, 山口 将史, 塩田 哲広

102. びまん性肺動静脈奇形の一例  
京都大学医学部附属病院<sup>1</sup>, 大阪赤十字病院<sup>2</sup>  
○阪森 優一<sup>1</sup>, 福原 学<sup>2</sup>, 渡辺 創<sup>1</sup>, 谷澤 公伸<sup>1</sup>, 相原 顕作<sup>1</sup>, 三嶋 理晃<sup>1</sup>,  
半田 知宏<sup>1</sup>, 陳 和夫<sup>1</sup>
103. 肺動静脈奇形に対してコイル塞栓術を施行した11例  
神戸市立医療センター中央市民病院  
○田中 広祐, 松本 健, 門田 和也, 永田 一真, 大塚今日子, 立川 良,  
大塚浩二郎, 林 三千雄, 富井 啓介, 片上 信之
104. 咯血・肺循環センターにおける肺動静脈瘻カテーテル塞栓術13症例15手技の概要  
岸和田盈進会病院 咯血・肺循環センター<sup>1</sup>,  
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 内科<sup>2</sup>  
○石川 秀雄<sup>1</sup>, 高藤 淳<sup>1</sup>, 中谷 幸造<sup>1</sup>, 国定 慶太<sup>1</sup>, 西山 明秀<sup>2</sup>

## 第 4 会 場

10F/1004・1005

間質性肺炎 1 (9:00~9:36)

座長 富 岡 洋 海

(神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科)

105. 結核治療中に慢性間質性肺炎の急性増悪を呈した1剖検例

国立病院機構南京都病院 呼吸器内科

○杉山 牧子, 佐藤 敦夫, 小栗 晋, 山下 みお, 西尾 智尋, 角 謙介,  
水口 正義, 坪井 知正, 倉澤 卓也

106. 外科的肺生検から6年の経過を追えた特発性肺線維症の1剖検例

神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理科<sup>2</sup>

○木下 啓太<sup>1</sup>, 富岡 洋海<sup>1</sup>, 金田 俊彦<sup>1</sup>, 木田 陽子<sup>1</sup>, 金子 正博<sup>1</sup>, 藤井 宏<sup>1</sup>,  
勝山 栄治<sup>2</sup>

107. 特発性上葉限局型肺線維症 (IPUF) が疑われた1例

石切生喜病院 呼吸器内科

○晋山 真実, 南 謙一, 野村 奈穂, 江口 陽介, 松井 秀紀

108. 右上葉優位の陰影を呈し著明な肺高血圧を合併した間質性肺炎の1剖検例

神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 放射線科<sup>2</sup>, 同 病理科<sup>3</sup>

○片山 聡<sup>1</sup>, 富岡 洋海<sup>1</sup>, 金田 俊彦<sup>1</sup>, 木田 陽子<sup>1</sup>, 金子 正博<sup>1</sup>, 藤井 宏<sup>1</sup>,  
豊島 正実<sup>2</sup>, 白杵 則朗<sup>2</sup>, 勝山 栄治<sup>3</sup>

間質性肺炎 2 (9:36~10:03)

座長 西 村 尚 志

(京都桂病院 呼吸器センター呼吸器内科)

109. PMX-DHPにて救命した間質性肺炎急性増悪の2例

京都桂病院呼吸器センター 呼吸器内科<sup>1</sup>,

京都大学大学院医学研究科 呼吸管理睡眠制御学<sup>2</sup>

○東 正徳<sup>1</sup>, 春名 茜<sup>1</sup>, 吉田 博徳<sup>1</sup>, 山藤 緑<sup>1</sup>, 小賀 徹<sup>2</sup>, 西村 尚志<sup>1</sup>

110. 血漿交換療法が有用であった間質性肺炎急性増悪の一例

天理よろづ相談所病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 放射線部<sup>2</sup>, 同 病理部<sup>3</sup>

○安田 武洋<sup>1</sup>, 田口 善夫<sup>1</sup>, 田中 栄作<sup>1</sup>, 羽白 高<sup>1</sup>, 寺田 邦彦<sup>1</sup>, 橋本 成修<sup>1</sup>,  
加持 雄介<sup>1</sup>, 池添 浩平<sup>1</sup>, 福永健太郎<sup>1</sup>, 中塚 賀也<sup>1</sup>, 日和 良介<sup>1</sup>, 辻 貴宏<sup>1</sup>,  
野間 恵之<sup>2</sup>, 小橋陽一郎<sup>3</sup>, 本庄 原<sup>3</sup>

111 当院にてピルフェニドンを使用した15症例の検討

国立病院機構姫路医療センター

○鏡 亮吾, 大西 康貴, 勝田 倫子, 三村 一行, 横山 俊秀, 渡部 悦子,  
田畑 寿子, 宮川 倫子, 真弓哲一郎, 水守 康之, 塚本 宏壮, 守本 明枝,  
岡本 裕子, 佐々木 信, 河村 哲治, 中原 保治, 望月 吉郎

自己免疫性肺疾患 (10:03~10:39)

座長 佐々木 信

(国立病院機構姫路医療センター 呼吸器科)

112. DIP反応を伴ったリウマチ肺の1例

国立病院機構姫路医療センター 呼吸器科<sup>1</sup>, 天理よろづ相談所病院 病理<sup>2</sup>

○横山 俊秀<sup>1</sup>, 大西 康貴<sup>1</sup>, 鏡 亮吾<sup>1</sup>, 勝田 倫子<sup>1</sup>, 三村 一行<sup>1</sup>, 渡部 悦子<sup>1</sup>,  
田畑 寿子<sup>1</sup>, 宮川 倫子<sup>1</sup>, 真弓哲一郎<sup>1</sup>, 水守 康之<sup>1</sup>, 塚本 宏壮<sup>1</sup>, 守本 明枝<sup>1</sup>,  
岡本 裕子<sup>1</sup>, 佐々木 信<sup>1</sup>, 河村 哲治<sup>1</sup>, 中原 保治<sup>1</sup>, 望月 吉郎<sup>1</sup>, 小橋陽一郎<sup>2</sup>

113. 抗CADM-140抗体が陽性であったamyopathic dermatomyositisに伴う間質性肺炎の3例

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

○永田 一真, 田中 広佑, 松本 健, 門田 和也, 南條 成輝, 大塚今日子,  
立川 良, 大塚浩二郎, 林 三千雄, 富井 啓介

114. 抗CADM-140抗体が陽性であったamyopathic dermatomyositisに伴う間質性肺炎の3例

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

○永田 一真, 田中 広祐, 松本 健, 門田 和也, 南條 成輝, 大塚今日子,  
立川 良, 大塚浩二郎, 林 三千雄, 富井 啓介

115. 多発結節影を呈したIgG4関連肺疾患の1例

国立病院機構姫路医療センター 呼吸器内科

○宮川 倫子, 勝田 倫子, 大西 康貴, 鏡 亮吾, 三村 一行, 横山 俊秀,  
渡部 悦子, 田畑 寿子, 真弓哲一郎, 水守 康之

ウエゲナー肉芽腫症 (10:39~11:06)

座長 長尾 大志

(滋賀医科大学附属病院 呼吸器内科)

116. 強膜炎で発症し、舌下神経麻痺、反回神経麻痺を合併したWegener肉芽腫症の1例

近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科

○佐野安希子, 山縣 俊之, 佐野 博幸, 綿谷奈々瀬, 塚本 敬造, 宮嶋 宏之,  
山藤 啓史, 西川 裕作, 佐藤 隆司, 東田 有智

117. 無症状で陰影が急速に増大したウェゲナー肉芽腫の一例  
赤穂市民病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 病理科<sup>2</sup>, 神戸大学医学部附属病院 病理診断科<sup>3</sup>,  
兵庫県立がんセンター 病理診断科<sup>4</sup>  
○山口 将史<sup>1</sup>, 塩田 哲広<sup>1</sup>, 榎木 英介<sup>2</sup>, 伊藤 智雄<sup>3</sup>, 大林 千穂<sup>4</sup>

118. 急速に進行する間質陰影を呈した Wegener 肉芽腫の1例  
社会保険紀南病院 内科  
○田村 崇, 田村 志宣, 山岡 優子, 谷口 文崇, 中谷 宗幹, 松谷 紀彦,  
佐原 裕之, 古久保ますみ, 那須 英紀, 木村りつ子, 藤本 特三

#### 血管炎 (11:06~11:42)

座長 杉 田 孝 和  
(日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科)

119. 肺 *M.intracellulare* 症の経過中に ANCA 関連血管炎による肺胞出血を発症したと考えられた1例

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 内科

- 玉置 岳史, 中尾 桂子, 佐々木由美子, 杉本 親寿, 露口 一成, 新井 徹,  
松井 秀夫, 井上 義一, 鈴木 克洋, 林 清二

120. 限局性に肺胞出血を繰り返した ANCA 関連血管炎の一例

神戸市立医療センター中央市民病院

- 大塚今日子, 松本 健, 門田 和也, 竹下 純平, 田中 広祐, 永田 一真,  
櫻井 綾子, 南條 成輝, 立川 良, 大塚浩二郎, 林 三千雄, 片上 信之,  
富井 啓介

121. MPO-ANCA 陽性間質性肺炎の経過中に脳梗塞を来した一例

日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科

- 古田健二郎, 多木 誠人, 村瀬 博紀, 杉尾 裕美, 中川 淳, 森田 恭平,  
池上 達義, 杉田 孝和, 堀川 禎夫, 西山 秀樹

122. 間質性肺炎経過中に MPO-ANCA 陽性の Goodpasture 症候群を発症した1例

神戸市立医療センター西市民病院<sup>1</sup>, 同 腎臓内科<sup>2</sup>, 同 臨床病理科<sup>3</sup>

- 庄司 浩気<sup>1</sup>, 富岡 洋海<sup>1</sup>, 金田 俊彦<sup>1</sup>, 木田 陽子<sup>1</sup>, 金子 正博<sup>1</sup>, 藤井 宏<sup>1</sup>,  
大谷 美穂<sup>2</sup>, 中島 吉彦<sup>2</sup>, 勝山 栄治<sup>3</sup>

#### その他の腫瘍6 (13:30~14:06)

座長 櫻 本 稔  
(北野病院 呼吸器センター内科部門)

123. 胸壁原発悪性リンパ腫の一例

ベルランド総合病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理部<sup>2</sup>

- 真本 卓司<sup>1</sup>, 稲田 裕也<sup>1</sup>, 梅田 喜亮<sup>1</sup>, 後藤 充晴<sup>1</sup>, 伴 裕雅<sup>1</sup>, 畠中 章五<sup>1</sup>,  
梁 尚志<sup>1</sup>, 山内 道子<sup>2</sup>

124. 浮腫と両側胸水貯留をきたした angioimmunoblastic T-cell lymphoma (AITL) の一例  
 洛和会音羽病院 呼吸器科  
 ○土谷美知子, 五十嵐知之, 角張 玲奈, 渡部 寛, 榎堀 徹
125. 気道病変と結節影を呈したマントル細胞リンパ腫の一例  
 大阪赤十字病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 血液内科<sup>2</sup>  
 ○時岡 史明<sup>1</sup>, 花岡 健司<sup>1</sup>, 長野 宏昭<sup>1</sup>, 黄 文禧<sup>1</sup>, 中村 保清<sup>1</sup>, 吉村 千恵<sup>1</sup>,  
 若山 俊明<sup>1</sup>, 西坂 泰夫<sup>1</sup>, 網谷 良一<sup>1</sup>, 通堂 満<sup>2</sup>
126. 画像所見に乏しかったが、経気管支肺生検で診断し得た血管内リンパ腫 (IVL) の一例  
 田附興風会北野病院 呼吸器センター  
 ○高松 和史, 井上 大生, 石床 学, 糸谷 涼, 鈴木 進子, 松本 正孝,  
 竹村 昌也, 櫻本 稔, 福井 基成

その他の間質性肺炎・サルコイドーシス (14:06～14:51) 座長 鴨井 博  
 (大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器病態制御内科学)

127. albendazole 無効であったイヌ蛔虫抗体陽性の慢性好酸球性肺炎 (CEP) の1例  
 国立病院機構姫路医療センター 呼吸器内科  
 ○守本 明枝, 望月 吉郎, 中原 保治, 河村 哲治, 佐々木 信, 岡本 裕子,  
 水守 康之, 塚本 宏壮, 真弓哲一郎, 宮川 倫子, 田畑 寿子, 渡部 悦子,  
 横山 俊秀, 鏡 亮吾, 勝田 倫子, 三村 一行, 大西 康貴
128. 画像所見に乏しかったが、経気管支肺生検で診断し得た血管内リンパ腫 (IVL) の一例  
 田附興風会北野病院 呼吸器センター  
 ○高松 和史, 井上 大生, 石床 学, 糸谷 涼, 鈴木 進子, 松本 正孝,  
 竹村 昌也, 櫻本 稔, 福井 基成
129. Heerfordt 症候群の1例  
 国立病院機構姫路医療センター  
 ○岡本 裕子, 大西 康貴, 鏡 亮吾, 勝田 倫子, 三村 一行, 横山 俊秀,  
 渡部 悦子, 田畑 寿子, 宮川 倫子, 真弓哲一郎, 水守 康之, 塚本 宏壮,  
 守本 明枝, 佐々木 信, 河村 哲治, 中原 保治, 望月 吉郎
130. 大阪中心のサルコイドーシス、肺胞微石症の家族発生について  
 愛染橋病院 内科<sup>1</sup>, 大阪大学 呼吸器・免疫アレルギー内科<sup>2</sup>,  
 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 内科<sup>3</sup>, 宝塚市立病院 呼吸器内科<sup>4</sup>  
 ○立花 暉夫<sup>1</sup>, 立花 功<sup>2</sup>, 林 清二<sup>3</sup>, 井上 義一<sup>3</sup>, 坂谷 光則<sup>3</sup>, 竹中 雅彦<sup>4</sup>

131. サルコイドーシス悪性腫瘍合併症例の検討  
宝塚市立病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 愛染橋病院 内科<sup>2</sup>,  
大阪大学 呼吸器・免疫アレルギー内科<sup>3</sup>, 公立学校共済近畿中央病院 呼吸器内科<sup>4</sup>,  
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 内科<sup>5</sup>  
○竹中 雅彦<sup>1</sup>, 立花 暉夫<sup>2</sup>, 立花 功<sup>3</sup>, 大崎 匡<sup>4</sup>, 林 清二<sup>5</sup>, 井上 義一<sup>5</sup>,  
坂谷 光則<sup>5</sup>

薬剤性肺炎・肺障害 1 (14:51~15:36)

座長 芥 川 茂  
(市立池田病院 呼吸器内科)

132. 健康食品による薬剤性肺障害の一例  
神戸労災病院 内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器科<sup>2</sup>  
○瀧口 純司<sup>1</sup>, 坂本 浩一<sup>1</sup>, 岡村佳代子<sup>1</sup>, 橋本由香子<sup>2</sup>, 大西 一男<sup>1</sup>
133. 健康食品のセンナ実による薬剤性間質性肺炎が疑われた1例  
田附興風会医学研究所北野病院 呼吸器センター  
○糸谷 涼, 福井 基成, 櫻本 稔, 竹村 昌也, 松本 正孝, 鈴木 進子,  
石床 学, 高松 和史, 井上 大生
134. 防風通聖散による薬剤性間質性肺炎・急性呼吸窮迫症候群が疑われた一例  
天理よろづ相談所病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 放射線部<sup>2</sup>, 同 病理部<sup>3</sup>  
○寺田 邦彦<sup>1</sup>, 中塚 賀也<sup>1</sup>, 福永健太郎<sup>1</sup>, 池添 浩平<sup>1</sup>, 遠渡 純輝<sup>1</sup>, 加持 雄介<sup>1</sup>,  
安田 武洋<sup>1</sup>, 橋本 成修<sup>1</sup>, 羽白 高<sup>1</sup>, 田中 栄作<sup>1</sup>, 田口 善夫<sup>1</sup>, 野間 恵之<sup>2</sup>,  
本庄 元<sup>3</sup>, 小橋陽一郎<sup>3</sup>
135. びまん性小粒状陰影を呈した好酸球浸潤をともなう薬剤性肺炎の一例  
市立池田病院 呼吸器内科  
○白井 佐和, 高瀬 直人, 芥川 茂, 橋本 重樹
136. 潰瘍性大腸炎の治療中に好酸球性肺炎をきたした一例  
済生会吹田病院 呼吸器内科  
○村上 伸介, 竹中 英昭, 小口 展生, 鷗山 広樹, 熊本 牧子, 長 澄人

薬剤性肺炎・肺障害 2 (15:36~16:12)

座長 伊 藤 功 朗  
(京都大学医学部 呼吸器内科)

137. ドキシフルリジンによると考えられた薬剤性肺障害の1例  
天理よろづ相談所病院  
○中塚 賀也, 橋本 尚佳, 福永健太郎, 池添 浩平, 加持 雄介, 安田 武洋,  
橋本 成修, 寺田 邦彦, 羽白 高, 田中 栄作, 田口 善夫

138. GEM/TS-1による胆管癌化学療法中に発症した薬剤性肺炎の一部検例  
 京都大学 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理部<sup>2</sup>  
 ○樽見 映里<sup>1</sup>, 伊藤 功朗<sup>1</sup>, 今井誠一郎<sup>1</sup>, 三嶋 理晃<sup>1</sup>, 近藤 響子<sup>2</sup>
139. ペメトレキセド(アリムタ)による肺傷害が疑われた2症例  
 市立堺病院 呼吸器内科  
 ○西田 幸司, 伊木れい佳, 三宅浩太郎, 大田 加与, 郷間 巖, 大成 功一
140. 最近経験したパクリタキセルによる薬剤性肺障害症例  
 天理よろづ相談所病院 呼吸器内科  
 ○日和 良介, 辻 貴宏, 中塚 賀也, 福永健太郎, 池添 浩平, 加持 雄介,  
 安田 武洋, 橋本 成修, 寺田 邦彦, 羽白 高, 田中 栄作, 田口 善夫

その他の肺障害・職業性疾患 (16:12~16:57) 座長 紙 森 隆 雄  
(淀川キリスト教病院 呼吸器センター)

141. 強度変調放射線治療後に肺障害を発症した一例  
 京都市立病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 病理診断科<sup>2</sup>, 高槻赤十字病院 呼吸器科<sup>3</sup>  
 ○小林 祐介<sup>1</sup>, 瀬戸瑠里子<sup>1</sup>, 張 孝徳<sup>1</sup>, 酒井 茂樹<sup>1</sup>, 中村 敬哉<sup>1</sup>, 江村 正仁<sup>1</sup>,  
 浦田 洋二<sup>2</sup>, 金光 禎寛<sup>3</sup>
142. 粒子線による放射線性肺臓炎の一例  
 大阪医科大学 第一内科(呼吸器内科)  
 ○吉田 修平, 田崎龍之介, 池田宗一郎, 川口 哲史, 坂東 園子, 玉舎 学,  
 藤田 一彦, 高須太三郎, 後藤 功, 花房 俊昭
143. アルミニウム吸入による塵肺と考えられた両側びまん性小粒状影を呈した一例  
 神戸市立医療センター西市民病院  
 ○金田 俊彦, 木田 陽子, 金子 正博, 藤井 宏, 富岡 洋海
144. 皮革業従事者に発症した間質性肺炎  
 国立病院機構姫路医療センター 呼吸器内科<sup>1</sup>, 天理よろづ相談所病院 病理<sup>2</sup>  
 ○勝田 倫子<sup>1</sup>, 大西 康貴<sup>1</sup>, 鏡 亮吾<sup>1</sup>, 三村 一行<sup>1</sup>, 横山 俊秀<sup>1</sup>, 渡部 悦子<sup>1</sup>,  
 田畑 寿子<sup>1</sup>, 宮川 倫子<sup>1</sup>, 真弓哲一郎<sup>1</sup>, 水守 康之<sup>1</sup>, 塚本 宏壮<sup>1</sup>, 守本 明枝<sup>1</sup>,  
 岡本 裕子<sup>1</sup>, 佐々木 信<sup>1</sup>, 河村 哲治<sup>1</sup>, 中原 保治<sup>1</sup>, 望月 吉郎<sup>1</sup>, 小橋陽一郎<sup>2</sup>
145. 当院で行った石綿手帳の検診におけるCT所見の解析  
 神鋼病院 呼吸器センター  
 ○鈴木雄二郎, 出口 美鳥, 領家 永遠, 狛 泰子, 福光 研介, 松岡 弘典,  
 吉松 昭和, 笠井 由隆, 榎屋 大輝

146. 血球貪食像が見られたキャッスルマン病の一例

淀川キリスト教病院 呼吸器センター<sup>1</sup>, 同 病理部<sup>2</sup>, 大阪市立大学医学部附属病院  
病理部<sup>3</sup>

○鍋谷大二郎<sup>1</sup>, 藤原 寛<sup>1</sup>, 紙森 隆雄<sup>1</sup>, 柳生 恭子<sup>1</sup>, 大谷賢一郎<sup>1</sup>, 上地 隆史<sup>1</sup>,  
乾 恭子<sup>1</sup>, 新村 直子<sup>1</sup>, 井尻 尚樹<sup>1</sup>, 吉田 也恵<sup>1</sup>, 加地 政秀<sup>1</sup>, 小松 弘明<sup>1</sup>,  
寺村 一裕<sup>2</sup>, 橋 真由美<sup>3</sup>

147. IgG4陽性の形質細胞による肺病変を伴った multicentric Castleman's disease の一例

奈良県立医科大学 内科学第二講座<sup>1</sup>, 吉野町国民健康保険吉野病院<sup>2</sup>, 奈良県立医科  
大学 胸部心臓血管外科<sup>3</sup>, 同 病理診断学講座<sup>4</sup>

○赤塚沙知子<sup>1</sup>, 児山 紀子<sup>1</sup>, 福岡 篤彦<sup>2</sup>, 玉置 伸二<sup>1</sup>, 友田 恒一<sup>1</sup>, 吉川 雅則<sup>1</sup>,  
木村 通孝<sup>3</sup>, 東条 尚<sup>3</sup>, 笠井 孝彦<sup>4</sup>, 野々村昭孝<sup>4</sup>, 木村 弘<sup>1</sup>

148. 両側胸水で発症したIgG4関連疾患と考えられた一例

天理よろづ相談所病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 放射線部<sup>2</sup>, 同 病理部<sup>2</sup>

○福永健太郎<sup>1</sup>, 辻 貴宏<sup>1</sup>, 日和 良介<sup>1</sup>, 中塚 賀也<sup>1</sup>, 池添 浩平<sup>1</sup>, 加持 雄介<sup>1</sup>,  
安田 武洋<sup>1</sup>, 橋本 成修<sup>1</sup>, 寺田 邦彦<sup>1</sup>, 羽白 高<sup>1</sup>, 田中 栄作<sup>1</sup>, 田口 善夫<sup>1</sup>,  
野間 恵之<sup>2</sup>, 本庄 原<sup>3</sup>, 小橋陽一郎<sup>3</sup>

## 第 5 会 場

10F/1006・1007

慢性閉塞性肺疾患 (9:00~9:45)

座長 南方良章  
(和歌山県立医科大学医学部 内科学第三講座)

149. COPD患者の日常活動性の客観的評価法の検討

和歌山県立医科大学 内科学第三講座

○神田 匡兄, 南方 良章, 川端 宏樹, 菊池 崇史, 柳澤 悟, 古川加奈子,  
市川 朋宏, 小荒井 晃, 赤松啓一郎, 平野 綱彦, 中西 正典, 杉浦 久敏,  
松永 和人, 一ノ瀬正和

150. COPD重症度と末梢動脈疾患との関係

神鋼病院 呼吸器センター

○松岡 弘典, 出口 美鳥, 領家 永遠, 狛 泰子, 福光 研介, 吉松 昭和,  
笠井 由隆, 栢屋 大貴, 鈴木雄二郎

151. NIPPVが著効したwoman emphysema with asthmaの一例

橋本市民病院 内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器内科<sup>2</sup>, 同 代謝内科<sup>3</sup>, 同 循環器科<sup>4</sup>,  
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科<sup>5</sup>

○坂野 元彦<sup>1</sup>, 藤田 悦生<sup>2</sup>, 河合 純<sup>1</sup>, 阪中敬一郎<sup>1</sup>, 大星 隆司<sup>3</sup>, 前田 孝浩<sup>4</sup>,  
川嶋 秀治<sup>4</sup>, 西川 裕作<sup>5</sup>, 内藤 映理<sup>5</sup>, 久米 裕昭<sup>5</sup>, 東田 有智<sup>5</sup>, 山本 勝廣<sup>4</sup>

152. 自己血注入による気管支鏡的肺容量減少療法が有効であった重症肺気腫の1例

国立病院機構姫路医療センター

○水守 康之, 大西 康貴, 勝田 倫子, 三村 一行, 鏡 亮吾, 横山 俊秀,  
渡部 悦子, 田畑 寿子, 宮川 倫子, 真弓哲一郎, 塚本 宏壮, 守本 明枝,  
岡本 裕子, 佐々木 信, 河村 哲治, 中原 保治, 望月 吉郎

153. 日常臨床における肺年齢の意義

赤穂市民病院 呼吸器科

○塩田 哲広, 山口 将史

アレルギー性肺疾患 1 (9:45~10:12)

座長 山口将史  
(赤穂市民病院 呼吸器科)

154. 診察時間一人7分という外来医療の現実の中での気管支喘息患者教育の試み

西淀病院 内科<sup>1</sup>, 大阪ファルマプランあおぞら薬局<sup>2</sup>

○大野 啓文<sup>1</sup>, 山田のどか<sup>2</sup>, 大島 民旗<sup>1</sup>, 福島 啓<sup>1</sup>, 穂久 英明<sup>1</sup>

155. 咯血を伴ったアレルギー性肉芽腫性血管炎の1例  
大津赤十字病院 呼吸器科  
○中川 和彦, 金田 祥平, 野口 進, 森山あかり, 豊 洋次郎, 高橋 憲一,  
片倉 浩理, 酒井 直樹, 山中 晃
156. アレルギー性肉芽腫性血管炎による末梢神経障害に対して免疫グロブリン投与を試みた一例  
大阪府済生会中津病院 呼吸器科  
○加藤 友美, 小野健太郎, 齋藤 隆一, 孫野 直起, 竹田 知史, 上田 哲也,  
長谷川吉則, 坂東 憲司

アレルギー性肺疾患 2 (10:12 ~ 10:48)

座長 上田 哲也  
(済生会中津病院 呼吸器内科)

157. 若年女性に発症したシイタケによる過敏性肺炎の一例  
国立病院機構刀根山病院 内科  
○立石 善隆, 元根 正晴, 好村 研二, 三木 真理, 三木 啓資, 北田 清悟,  
橋本 尚子, 平賀 通, 前倉 亮治
158. 羽毛布団曝露試験にて診断した鳥関連慢性過敏性肺炎の1例  
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター<sup>1</sup>, 同 臨床研究センター<sup>2</sup>, 同 研究検査科<sup>3</sup>,  
同 放射線科<sup>4</sup>  
○竹内奈緒子<sup>1</sup>, 新井 徹<sup>1</sup>, 廣岡 亜矢<sup>1</sup>, 西江 健一<sup>1</sup>, 中尾 桂子<sup>1</sup>, 庄田 武司<sup>1</sup>,  
杉本 親寿<sup>1</sup>, 橋 和延<sup>1</sup>, 鈴木 克洋<sup>1</sup>, 林 清二<sup>1</sup>, 井上 義一<sup>2</sup>, 露口 一成<sup>2</sup>,  
北市 正則<sup>3</sup>, 審良 正則<sup>4</sup>
159. 著しい気道粘膜病変を認めた好酸球性肺炎の一例  
済生会吹田病院 呼吸器内科  
○小口 展生, 竹中 英昭, 鶴山 広樹, 熊本 牧子, 村上 伸介, 長 澄人
160. 吸入ステロイド無効であり、胸部HRCTでびまん性に散在する小葉中心性の小粒状影を認めた喘息発作の一例  
高槻赤十字病院 呼吸器センター  
○伏屋 芳紀, 北 英夫, 西原 裕美, 片山 優子, 谷村 和哉, 金光 禎寛,  
千葉 渉

呼吸不全 (10:48～11:42)

座長 坪 井 知 正  
(国立病院機構南京都病院 呼吸器科)

161. 難聴・視野障害・てんかん等を合併し、重症喘息として治療されていた睡眠呼吸障害の1例  
市附興風会医学研究所北野病院 呼吸器センター  
○井上 大生, 糸谷 涼, 高松 和史, 石床 学, 鈴木 進子, 松本 正孝,  
竹村 昌也, 櫻本 稔, 福井 基成
162. 人工呼吸器管理後に著明な高CPK血症、四肢筋力低下を呈した喘息重積発作の1症例  
市立伊丹病院 呼吸器内科  
○中村 敬彦, 原 聡志, 高田 哲男, 出上 裕之, 木下 善詞, 細井 慶太,  
関 庚輝
163. 抗凝固剤によるび慢性肺胞出血の一例  
大阪警察病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター<sup>2</sup>  
○竹内 美子<sup>1</sup>, 濱口 眞成<sup>1</sup>, 仲谷 健史<sup>1</sup>, 岡藤 浩平<sup>2</sup>, 白山 敬之<sup>2</sup>, 南 誠剛<sup>1</sup>,  
緒方 嘉隆<sup>1</sup>, 小林知加子<sup>1</sup>, 山本 傑<sup>1</sup>, 小牟田 清<sup>1</sup>
164. カテーテルアブレーションの関与が疑われた肺胞出血の2例  
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 循環器内科<sup>2</sup>  
○大塚浩二郎<sup>1</sup>, 南條 成輝<sup>1</sup>, 立川 良<sup>1</sup>, 大塚今日子<sup>1</sup>, 永田 一真<sup>1</sup>, 田中 広祐<sup>1</sup>,  
松本 健<sup>1</sup>, 門田 和也<sup>1</sup>, 林 三千雄<sup>1</sup>, 片上 信之<sup>1</sup>, 富井 啓介<sup>1</sup>, 小堀 敦志<sup>2</sup>
165. NPPV用ヘルメット型マスクCASTAR“R”の使用経験  
赤穂市民病院 呼吸器科  
○上田紗希帆, 塩田 哲広, 山口 将史
166. 当院にて急性期NPPVを導入した症例の検討  
大阪警察病院<sup>1</sup>, 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター<sup>2</sup>  
○濱口 眞成<sup>1</sup>, 小牟田 清<sup>1</sup>, 山本 傑<sup>1</sup>, 緒方 嘉隆<sup>1</sup>, 南 誠剛<sup>1</sup>, 岡藤 浩平<sup>2</sup>,  
白山 敬之<sup>2</sup>, 仲谷 健史<sup>1</sup>, 竹内 美子<sup>1</sup>

希少肺疾患・その他2 (13:30～14:06)

座長 高 橋 憲 一  
(大津赤十字病院 呼吸器科)

167. 右大量胸水にて受診されHepatic Hydrothoraxと診断した1例  
医仁会武田総合病院  
○細川 俊浩, 前川 晃一, 池上裕美子

168. 最近経験した Williams-Campbell 症候群の 2 例  
 国立病院機構姫路医療センター  
 ○真弓哲一郎, 大西 康貴, 鏡 亮吾, 勝田 倫子, 三村 一行, 横山 俊秀,  
 渡部 悦子, 田畑 寿子, 宮川 倫子, 塚本 宏壮, 水守 康之, 守本 明枝,  
 岡本 裕子, 佐々木 信, 河村 哲治, 中原 保治, 望月 吉郎
169. 月経時の血瘀を主訴に来院した肺内異所性子宮内膜症の症例  
 大津赤十字病院 呼吸器科  
 ○金田 祥平, 野口 進, 中川 和彦, 森山あかり, 豊 洋次郎, 高橋 憲一,  
 片倉 浩理, 山中 晃, 酒井 直樹
170. 抗 2 型コラーゲン抗体陽性で気道狭窄を呈し再発性多発軟骨炎と考えられた一例  
 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 内科<sup>1</sup>, 同 臨床研究センター<sup>2</sup>, 同 臨床  
 検査科<sup>3</sup>, 同 放射線科<sup>4</sup>  
 ○庄田 武司<sup>1</sup>, 新井 徹<sup>1</sup>, 杉本 親寿<sup>1</sup>, 佐々木由美子<sup>1</sup>, 橋 和延<sup>1</sup>, 川口 知哉<sup>1</sup>,  
 林 清二<sup>1</sup>, 露口 一成<sup>2</sup>, 井上 義一<sup>2</sup>, 鈴木 克洋<sup>2,3</sup>, 北市 正則<sup>3</sup>, 高木 理博<sup>3,4</sup>,  
 審良 正則<sup>4</sup>

希少肺疾患・その他 3 (14:06 ~ 14:42)

座長 寺 田 邦 彦  
 (天理よろづ相談所病院 呼吸器内科)

171. 喫煙女性に発症した肺好酸球性肉芽腫症の 1 例  
 兵庫医科大学 内科学 呼吸器・RCU 科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 病院病理部<sup>3</sup>  
 ○岡田あすか<sup>1</sup>, 平山 倫子<sup>1</sup>, 三上 浩司<sup>1</sup>, 前田 理沙<sup>1</sup>, 大搦泰一郎<sup>1</sup>, 野木 佳孝<sup>1</sup>,  
 寺田 貴普<sup>1</sup>, 安光 亮洋<sup>1</sup>, 村上 亜紀<sup>1</sup>, 山田 秀哉<sup>1</sup>, 田村 邦宣<sup>1</sup>, 栗林 康造<sup>1</sup>,  
 田端 千春<sup>1</sup>, 福岡 和也<sup>1</sup>, 中野 孝司<sup>1</sup>, 長谷川誠紀<sup>2</sup>, 中井真由美<sup>3</sup>, 塚本 吉胤<sup>3</sup>
172. 気胸を繰り返し、胸腔鏡下肺部分切除術にて病理診断に至ったリンパ脈管筋腫症の 1 例  
 兵庫県立尼崎病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>, 同 病理部<sup>3</sup>  
 ○二階堂純一<sup>1</sup>, 嶋田 雅俊<sup>1</sup>, 片岡 裕貴<sup>1</sup>, 平野 勝也<sup>1</sup>, 平位 知之<sup>1</sup>, 原 良和<sup>1</sup>,  
 遠藤 和夫<sup>1</sup>, 今村 直人<sup>2</sup>, 岩切章太郎<sup>2</sup>, 糸井 和美<sup>2</sup>, 三村 六郎<sup>3</sup>, 平林 正孝<sup>1</sup>
173. 肺リンパ脈管筋腫症・巨大腎血管筋脂肪腫を合併した結節性硬化症の一例  
 天理よろづ相談所病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 放射線科<sup>2</sup>, 同 病理部<sup>3</sup>  
 ○中塚 賀也<sup>1</sup>, 福永健太郎<sup>1</sup>, 池添 浩平<sup>1</sup>, 加持 雄介<sup>1</sup>, 安田 武洋<sup>1</sup>, 橋本 成修<sup>1</sup>,  
 寺田 邦彦<sup>1</sup>, 羽白 高<sup>1</sup>, 田中 栄作<sup>1</sup>, 田口 善夫<sup>1</sup>, 野間 恵之<sup>2</sup>, 藤田 久美<sup>3</sup>,  
 本庄 原<sup>3</sup>, 小橋陽一郎<sup>3</sup>
174. 後天性血友病Ⅻを合併した呼吸器疾患 2 例の検討  
 国立病院機構姫路医療センター  
 ○田畑 寿子, 望月 吉郎, 中原 保治, 河村 哲治, 佐々木 信, 岡本 裕子,  
 守本 明枝, 塚本 宏壮, 水守 康之, 真弓哲一郎, 宮川 倫子, 横山 俊秀,  
 渡部 悦子, 鏡 亮吾, 三村 一行, 勝田 倫子, 大西 康貴

175. 臥位から座位への体位変換で劇的な低酸素血症を認めた多発脳梗塞の1例  
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 神経内科<sup>2</sup>, 同 循環器内科<sup>3</sup>  
○南條 成輝<sup>1</sup>, 菅生 教文<sup>2</sup>, 北井 豪<sup>3</sup>, 大塚今日子<sup>1</sup>, 立川 良<sup>1</sup>, 大塚浩二郎<sup>1</sup>,  
林 三千雄<sup>1</sup>, 片上 信之<sup>1</sup>, 富井 啓介<sup>1</sup>
176. 感染を契機に咯血をきたしたと考えられる気管支動脈肺動脈瘻の一例  
住友病院  
○香川 浩之, 森田 吉恵, 後藤 健一, 今村 拓也, 重松三知夫, 佐竹 範夫
177. MDCTにて末梢肺塞栓が指摘された遷延性肺血栓塞栓症の1例  
奈良県立医科大学 内科学第二講座  
○鹿子木貴彦, 櫻井 正樹, 中村 篤宏, 藤田 幸男, 山本 佳史, 本津 茂人,  
児山 紀子, 山内 基雄, 須崎 康恵, 玉置 伸二, 友田 恒一, 吉川 雅則,  
木村 弘
178. 膝窩ガングリオンを契機に発症した肺塞栓症の一例  
天理よろづ相談所病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 同 放射線部<sup>2</sup>, 同 整形外科<sup>3</sup>  
○橋本 成修<sup>1</sup>, 田中 栄作<sup>1</sup>, 羽白 高<sup>1</sup>, 寺田 邦彦<sup>1</sup>, 安田 武洋<sup>1</sup>, 加地 雄介<sup>1</sup>,  
池添 浩平<sup>1</sup>, 福永健太郎<sup>1</sup>, 平塚 賀也<sup>1</sup>, 日和 良介<sup>1</sup>, 辻 貴弘<sup>1</sup>, 田口 善夫<sup>1</sup>,  
野間 恵之<sup>2</sup>, 大澤 漢宇<sup>3</sup>
179. 咳の原因検索中に肺梗塞で死亡し、剖検にて肺癌性リンパ管症、胃癌と判明した一例  
神鋼病院 呼吸器センター  
○粕 泰子, 出口 美鳥, 領家 永遠, 福光 研介, 松岡 弘典, 吉松 昭和,  
笠井 由隆, 枡屋 大輝, 鈴木雄二郎
180. 急性肺血栓塞栓症に対してtPA投与後に脳梗塞を合併した1例  
奈良県立医科大学 内科学第二講座  
○茨木 敬博, 櫻井 正樹, 中村 篤宏, 藤田 幸男, 山本 佳史, 本津 茂人,  
児山 紀子, 山内 基雄, 須崎 康恵, 玉置 伸二, 友田 恒一, 吉川 雅則,  
木村 弘

181. Sonazoid造影超音波検査が腫瘍血管描出に有用であった胸膜下肺癌の3例  
済生会奈良病院 内科<sup>1</sup>, 平成記念病院 内科<sup>2</sup>, 奈良県立医科大学 内科学第二講座<sup>3</sup>  
○浜崎 直樹<sup>1</sup>, 今井 照彦<sup>1</sup>, 北村 友宏<sup>1</sup>, 柴 五輪男<sup>1</sup>, 眞島 利匡<sup>1</sup>, 寺本 正治<sup>1</sup>,  
鴻池 義純<sup>2</sup>, 木村 弘<sup>3</sup>

182. CTガイド下肺生検中に脳・冠動脈空気塞栓症を発症した1例  
兵庫県立がんセンター 呼吸器外科<sup>1</sup>, 住友病院 呼吸器内科<sup>2</sup>  
○小川 裕行<sup>1</sup>, 佐竹 範夫<sup>2</sup>, 重松三知夫<sup>2</sup>, 今村 拓也<sup>2</sup>, 香川 浩之<sup>2</sup>
183. 当院におけるCTガイド下生検90例の検討  
赤穂市民病院 呼吸器科  
○家村阿紗子, 山口 将史, 塩田 哲広
184. 誤嚥した義歯を摘除するのにループ型鉗子が有用であった一症例  
国立病院機構宇多野病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 京都博愛会病院 呼吸器外科<sup>2</sup>  
○堤 健雄<sup>1</sup>, 安倍 隆二<sup>2</sup>
185. 非結核性抗酸菌症による難治性気胸に対してEWS充填術が有効であった1例  
岸和田市民病院 呼吸器科<sup>1</sup>, 同 呼吸器外科<sup>2</sup>  
○小林 岳彦<sup>1</sup>, 寺西 敬<sup>1</sup>, 堤 紀子<sup>1</sup>, 樋上 雄一<sup>1</sup>, 出原 裕美<sup>1</sup>, 古下 義彦<sup>1</sup>,  
三浦 幸樹<sup>2</sup>, 川島 正裕<sup>2</sup>, 加藤 元一<sup>1</sup>
186. Endobronchial Watanabe Spigot (EWS) を用いた気管支充填術後に根治術を施行した  
有癭性膿胸の一例  
京都第一赤十字病院 呼吸器科  
○長谷川浩一, 荃田 祐司, 荻野 浩嗣, 徳田 深作, 塩津 伸介, 上島 康生,  
内匠千恵子, 大野 聖子, 平岡 範也

# MEMO

---

# 抄 録

教育講演  
ランチオンセミナー



## 教育講演 1

### オマリツマブが気管支喘息治療に与えたインパクト

塩田 哲広  
赤穂市民病院 呼吸器科

『先生もう治ったみたいです！今までの14年間はなんだったんでしょうか？』

60歳から気管支喘息を発病し、アドエア500、抗ロイコトルエン薬、テオフィリン等を投与しても毎日のようにSABAの使用が欠かせなかった74歳、男性にオマリツマブを投与した後2週間目の言葉です。更に関ここ数年悩み続けたアレルギー鼻炎からも解放されました。長年気管支喘息患者の臨床に携わってきた私にもかなりの衝撃でした。この衝撃は肺癌患者に初めてEGFR-TKIを投与し劇的に腫瘍が縮小した時の感動に似ています。その後研究がすすめられ最近ではoncogene addictionという表現が用いられていますが、この症例もIgE dependentというよりもさしずめIgE addiction とでもいうべきでしょうか。勿論この薬剤にも課題が山積しています。

1. どのような患者がこの薬剤の恩恵にあずかるのでしょうか？現在のところ投与前にその効果を予測することは困難です。
2. 効果判定の時期はいつすればよいのでしょうか？血清Free IgEは投与後1日で、FcεR Iの数は投与後14日で最低になることが報告されています。臨床の効果判定に16週間もいるのでしょうか？
3. オマリツマブと結合していないfree IgEのみを通常のサンドイッチ法では測定できない。中和抗体である以上実際に投与後に血清中free IgEが目標値以下に低下していることを確認したいものですが、現在一般に行われている検査方法では抗IgE抗体と3量体を形成しているIgE（抗体IgE抗体と結合したIgEは半減期が長くなる）とfreeのIgEを区別することが出来ず、オマリツマブ投与後血清総IgE値は増加します。投与したオマリツマブの量が適切であるかどうかを確認する上でも簡便にfree IgEが測定出来ることが望ましい。
4. 効果がみられた症例にいつまで投与すればよいのでしょうか？またdown regulationはみられないのでしょうか？
5. コストが高い。あまりにも薬価が高いために、投与を見合わせたり、せっかく効果があるのに継続出来ない患者がいます。
6. 頻度は低いようですがアナフィラキシーにも注意する必要があります。
7. アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、ABPAなどへの適応拡大はあるのでしょうか？

『自分が歩んできた道を語る時、私はよく「我々は」と言う。我々というのは私と照子のことである。』（我々の履歴書 人生は偶然の重なり 石坂公成 著より）1967年にこの石坂公成、照子夫妻によってIgEが発見されてから40年の歳月が流れました。是非私たちの手で新しいエビデンスを作りたいものです。

## 教育講演2

### 結核最新の話題

鈴木 克洋

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 統括診療部

結核罹患率は順調に低下し、現在人口10万人対19.4となった。昭和時代と比べると激減しているが、それでも年間2万5千人程度新規患者が発生しており、決して珍しい病気ではない。結核だけを特別視する時代は終わり、呼吸器感染症の重要な起炎菌として、過剰反応することなくまた軽視することなく、正當に位置づける必要がある。

結核最新の話題としてはInterferon Gamma Releasing Assay (IGRA) により比較的正確に結核感染者を見極める事が可能になった事が第一に挙げられる。わが国ではクオンティフェロンが保健適応となっている。BCGを広範に接種してきた日本では、ツベルクリン反応で結核感染者を見極める事は困難であった。ツベルクリン反応を用いると結核感染者を過剰に見積もるので、化学予防による発病防止策が講じにくい点が特に問題であった。現在クオンティフェロンにより感染者の絞込みが可能となり、潜在性結核感染症の治療として年齢によらず積極的に実施可能となったのは福音である。

結核の発病要因として、慢性関節リウマチなどに対する生物製剤の使用が有名になったのも最近の話題である。抗TNF  $\alpha$  製剤を中心とする生物製剤は、適応範囲をクローン病や乾癬に広げつつあり、各科の医師の結核に対する興味を再興している。生物製剤投与前に、クオンティフェロンにより結核感染の有無を調べ、感染・未発病状態であればまず潜在性結核感染症の治療を3週間先行させた後、生物製剤を投与する方法が学会のガイドラインとして提示されている。生物製剤投与中発病した結核の画像所見や経過は、HIV陽性者と共通する特徴があり興味深い。

長らく結核対策の柱であった結核予防法が廃止され、感染症法に統一された事も最近の話題である。急性感染症が主体の感染症法に慢性感染症である結核が統合されたため、いろいろな問題点が出現している。テロ対策として多剤耐性結核菌株の移動が実質的に不可能になった事も、多剤耐性結核の臨床や研究に大きな影を落としている。

## 教育講演3

### 慢性咳嗽の診断と治療

新実 彰男

京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学

咳は患者の受診動機として最も頻度が高い症状であり、近年では患者数の増加も指摘されている。また呼吸器疾患の殆ど全てが原因となり得るだけでなく、耳鼻科疾患、消化器疾患なども鑑別の対象となるため原因診断にしばしば難渋する。このような背景から2005年に日本呼吸器学会より「咳嗽に関するガイドライン」が発表された。

長引く咳を訴えて患者が受診したらまず胸部X線や丁寧な病歴聴取、胸部聴診により、肺癌、肺結核、間質性肺炎など重篤にもなりうる疾患と喘息とを除外する。それらを除いた8週以上持続し喘鳴や胸部X線の異常を示さない「狭義の」慢性咳嗽の原因疾患は、本邦では咳喘息、副鼻腔気管支症候群、胃食道逆流症、アトピー咳嗽などの頻度が高い。鑑別には病歴が重要で、可能な範囲で行う臨床検査と合わせて疑い診断をつける（治療前診断）。各疾患に特異的な治療（薬物療法や原因除去）で軽快が得られたら診断確定とする（治療後診断）。副鼻腔気管支症候群と喫煙による慢性気管支炎は湿性咳、その他は乾性咳を呈することが多いが例外もみられる。中枢性鎮咳薬による非特異的治療は、生体防御反応（痰や異物の咯出）としての咳を抑制し誤嚥のリスクを増すこと、無効例が少なくないことから、できるだけ原因を見極めて特異的治療を行う。

咳喘息は咳のみを症状とする喘息で、気道過敏性亢進や気道の好酸球性炎症、リモデリングがみられる。気管支拡張薬が特異的治療であるが、診断確定後は吸入ステロイド薬が第一選択薬であり、喘息への移行防止も期待できる。アトピー咳嗽は好酸球性炎症を伴うが気道過敏性はなく気管支拡張薬も無効で、喘息への移行は稀である。抗ヒスタミン薬やステロイド薬が有効である。上記2疾患では症状の季節性がしばしばみられる。副鼻腔気管支症候群（慢性副鼻腔炎+好中球性下気道炎）は膿性痰が特徴的でエリスロマイシンの少量療法が第一選択である。近年増加が指摘されている胃食道逆流症は食後や体位変換後の悪化や他の原因に合併しやすいのが特徴で、プロトンポンプ阻害薬が第一選択である。上気道炎後に遷延する感染後咳嗽は自然軽快が特徴で、上気道炎後にしばしば悪化する咳喘息などの他疾患の除外が重要である。3～8週間の遷延性咳嗽では咳喘息と並ぶ最多の原因疾患である。最近では百日咳の増加も指摘されている。講演の最後には「診断・治療フローチャート」を示して診療の進め方を総括する。

## 教育講演4

### 肺がん薬物療法のワンポイントレッスン

武田 晃司

大阪市立総合医療センター 臨床腫瘍科

肺がんは呼吸器内科医が頻繁に日常臨床で遭遇する呼吸器疾患であり、腫瘍内科医がまだ数多く育っていないわが国の現状においては、呼吸器内科医はハイレベルの肺がん薬物療法に関する知識を持っておく必要がある。しかし、分子標的薬の登場よりバイオマーカーによる個別化治療も急速に現実性を帯びてきており、肺がん薬物療法のガイドラインは毎年のように書き換えられても不思議でない状況である。ハイレベルの最先端知識を随時更新する継続的な努力を要求されている。また、急速な高齢化社会に到来により、日常臨床では高齢者の肺がん患者に対処する機会が多くなってきている。高齢者の薬物療法に関しては、ほとんどエビデンスがない状況にもかかわらず、合併症や社会背景なども複雑に絡み合った高齢者に対して最善の治療を選択しなければならない。さらにまだまだ十分とは言えないまでも以前と比べて多くの薬剤を手にしたからには、セカンドライン、サードラインまで見据えた治療戦略を立てることを要求される。ファーストラインに引き続く maintenance chemotherapy については最近の最も議論されているポイントのひとつである。

本日は日常臨床における肺がん薬物療法の臨床的課題をいくつかあげ、重要な臨床試験の結果を紹介するとともに、その解釈と意義について考察してみたい。

1. 進展型小細胞肺がんの治療について
  - 1) CPT-11+CDDP (IP) は標準治療か。JCOG9511 と北米での2つの追試験の結果の乖離。
  - 2) UGT1A1 遺伝子多型と CPT-11
  - 3) アムルビシンの開発とセカンドライン治療
2. IV期非扁平上皮・非小細胞肺がんのファーストライン治療について
  - 1) ペメトレキセド+プラチナ製剤の併用
  - 2) プラチナ2剤併用+ベバシズマブ
3. 非小細胞肺がんのセカンドライン治療について
  - 1) ドセタキセル、ペメトレキセド
  - 2) EGFR-TKI
  - 3) Maintenance chemotherapy
4. 高齢者非小細胞肺がんの治療戦略
  - 1) 高齢者患者の増加
  - 2) 治療目標と標準治療の探索
  - 3) 高齢者への治療適応をどのように評価するか。
5. 非小細胞肺がんの個別化治療について
  - 1) EGFR 遺伝子変異と EGFR-TKI
  - 2) ファーストライン治療への導入

# ランチョンセミナー 1

## 特発性肺線維症—診断と治療の新展開—

谷口 博之

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー内科

特発性肺線維症（IPF）は各種の間質性肺炎の中でも最も頻度が高く、進行性難治性で予後不良の疾患である。従来、副腎皮質ステロイドや免疫抑制薬が使用されてきたが、その効果は限定的なものであった。近年、IPFの病態への理解が進み、治療のTargetは抗炎症から抗線維化にシフトしてきた。IPFの治療薬については現在まで幾つかの大規模臨床試験が行われてきたが、本邦では多施設2重盲検比較試験により、pirfenidone（ピレスパ）がIPFの進行を抑制する（肺活量低下の抑制、無増悪生存期間の改善）ことが示され（Taniguchi H, et al; Pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis, Eur Respir J 2010;35:821-829）、世界に先駆けて本邦で保険適応を受けた。本剤は抗線維化作用（繊維芽細胞増殖抑制、コラーゲン合成抑制、TGF- $\beta$ 産生抑制など）、抗炎症作用（TNF- $\alpha$ 産生抑制など）、抗酸化作用（ヒドロキシラジカル抑制など）などの作用機序が知られるが、現在も標的分子は不明である。

IPFの治療は新時代の幕開けを迎えようとしている。IPFの薬物治療を考える上で、どのような群に治療効果が期待できるのか、は重要なテーマである。近年明らかになってきている各種の予後因子（ベースラインの肺活量や肺拡散能、6ヵ月後のFVCの10%以上の低下、6分間歩行テストなどの運動耐容能、呼吸困難の程度、HRCTでの蜂巣肺領域の拡がりの程度、労作時の低酸素血症、肺高血圧症、急性増悪の関与など）を紹介し、この問題について考察したい。また、現在まで行われたinterferon  $\gamma$ （INSPIRE）やエンドセリン受容体拮抗薬（BUILD-3）、TNF- $\alpha$ 阻害薬、silfenadilなどの臨床試験の結果についても言及したい。また、海外で行われたpirfenidoneの臨床試験（CAPACITY）の結果を紹介し、日本の成績との比較も試みたい。さらに酸素療法や呼吸リハビリテーションの意義、肺高血圧への対応などIPFの診断と治療を巡る問題点を多方面から検討し、pirfenidoneとどのように併用すべきかについても本セミナーに参加される皆さんと共に考えてみたい。

## ランチョンセミナー2

### 気管支喘息治療のテーラーメイド化は進むのか？

～配合薬の協調的使用法も含めて～

田中 裕士

札幌医科大学 第三内科

1978年にCFC-BDPが本邦で使用可能となり30年を超える吸入ステロイド投薬の歴史があるが、1998年のFPの発売、その後吸入長時間作用型 $\beta$ 2刺激薬SLMの登場、2007年の配合薬と最近の10年で喘息の治療は格段と向上し、その多くの症例はプライマリ・ケア医にゆだねられることになった。5種類の吸入ステロイド薬、2種類の配合薬、3種類のロイコトリエン受容体拮抗薬、多数の $\beta$ 2刺激薬およびヒト化IgE抗体などの治療薬をいかに上手に組み合わせて使い分けるかがポイントとなってきた。札幌医大第三内科および関連病院で1997、2003、2009年の6年間隔で行った患者症状アンケート調査の推移から、現在に残った喘息治療の問題点を明らかにしていきたい。特に、専門医にとって重症・難治性喘息では、IgEを介したアレルギー性機序と、非アレルギー性の好酸球以外のTSLP、EGFRなどを介する炎症が複雑に絡み合っているため、個々の症例で明らかにすることによりテーラーメイドの治療が可能である。多くの軽症の症例ではどの種類の吸入ステロイド薬でも、薬効が喘息病態よりも上まわっているためアドヒアランスがよければ喘息はおこらないが、避けがたい環境因子によるアレルギー体質獲得の増加については野放しである。咳喘息など初期の喘息の診断とそれに関与して鼻炎・副鼻腔炎の関与も問題である。喘息・アレルギー領域の疾患について、多くの治療薬が登場したことによるテーラーメイドの治療が可能となってきている。これまでの、症状、スパイロメトリーを中心とした治療と並行して、impulse oscillometry (IOS) を用いた呼吸抵抗および共振周波数、呼気中一酸化窒素 (FeNO) を用いた指標を追加することにより、喘息治療・管理のどこが変わるのかについて、さらにそれぞれの検査の限界点について知ることも大切である。これらの2つの検査は外来で合わせて5分以内に測定可能であるが、測定不可能の症例も全体の5%位あり万能でない。我々のおこなったこれらの検査データをもとに考察したい。また、配合薬の役割、新規喘息治療薬の協調的な使用方法について模索し、喘息という狭い治療概念から、もう少し幅を広げたアレルギー疾患の中の一つとしての喘息の治療へとシフトしていく必要があるものと思われる。

## ランチョンセミナー3

### 肺癌診療ガイドラインにおける進行期非小細胞肺がんの治療に関する改訂のポイント

瀬戸 貴司

国立病院機構九州がんセンター 統括診療部呼吸器科

肺癌は形態学的には小細胞肺癌（SCLC）、腺癌、扁平上皮癌、大細胞癌に分類されるが、その生物学的特性からSCLC、非小細胞肺癌（NSCLC）に分けて治療戦略が立てられてきた。これは、SCLCが化学療法に対する奏効割合が70%以上であるのに対して、NSCLCのそれは30-40%程度であることにある。昨今、上皮成長因子受容体遺伝子異常を有するNSCLCに対して70%以上の奏効割合を示す薬剤が臨床応用されるようになった。この遺伝子異常の有無が患者の治療戦略において重要な役割を果たす。

以下に示す二つの理由でNSCLCの組織型が重要な分類となった。①抗ヒト型血管上皮成長因子抗体が臨床応用され、化学療法との併用で奏効率および無増悪生存期間の延長が得られるようになった。この薬剤は咯血死亡割合が扁平上皮癌に高い。②血液学的毒性が軽いマルチ・ターゲット葉酸代謝拮抗剤ペメトレキセドが臨床応用された。この抗がん剤は非扁平上皮癌にのみ高い臨床効果を有する。従って、患者の死亡リスク、無効な抗がん剤投与を回避する目的でも、扁平上皮癌を正確に除外しなくてはならなくなった。

現在はこれらのエビデンスを反映したガイドラインの改訂作業を行っている。

今回はこれらのエビデンスとガイドラインへの取り込みを紹介する。